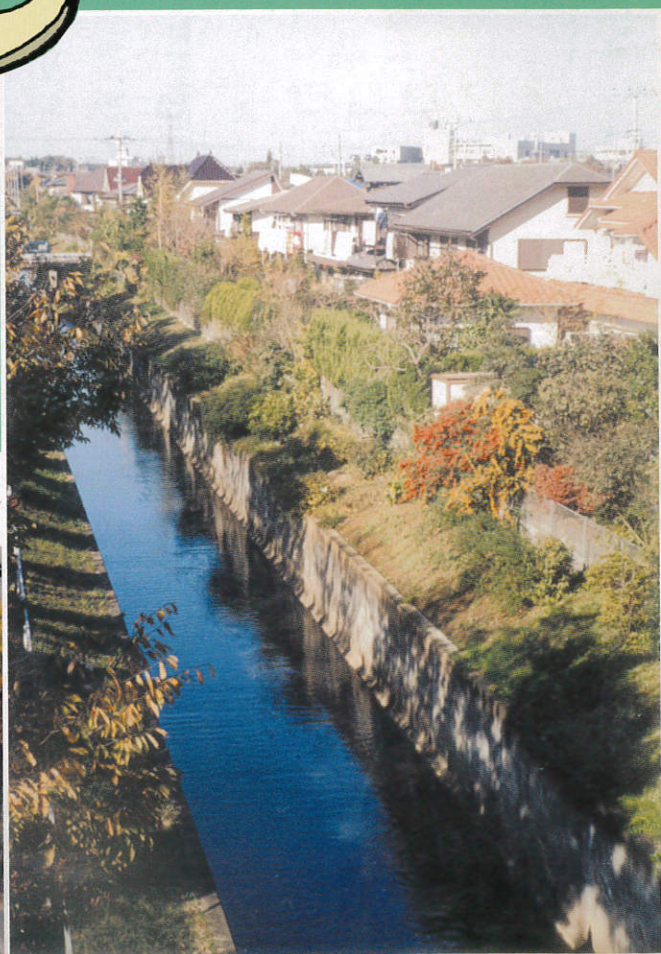
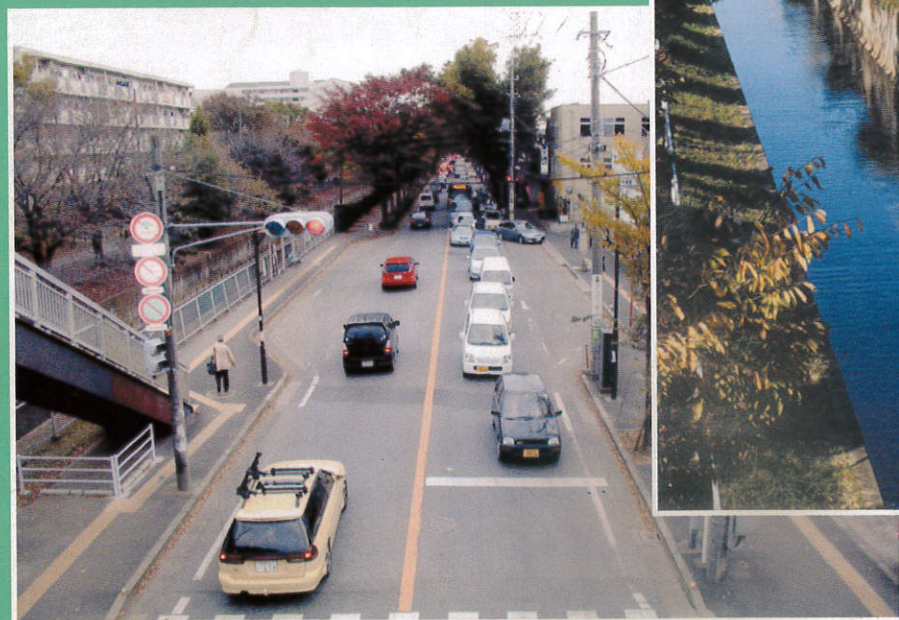


創立20周年記念



松葉町

平成17年(2005)2月

松葉町地域ふるさとづくり協議会

ふるさとづくり協議会は……

松葉町地域住民の相互交流を図るとともに
心豊かで住みやすい街にし、住民の未来の
ためにより良い環境と文化を残すために、
さまざまな活動を行います。

□□□ も く じ □□□

| | | | |
|---------------------------|---------------------|--------|-------|
| ご挨拶 | 会長 | 藤田 武志 | 2 |
| 創立20周年を記念して | 柏市長 | 本多 晃 | 3 |
| 祝 辞 | 松葉町商店会協同組合理事長 | 齋藤 敏文 | 4 |
| | 松葉中央商店会会長 | 森 忠光 | 4 |
| | 元会長 | 三浦 里治 | 5 |
| | 松葉近隣センター所長 | 海老原 克己 | 5 |
| 松葉町で生まれ育って二十年 | 6丁目 | 石垣 佐和子 | 6 |
| まつばの子 | 松葉一小・松葉二小の児童、松葉中の生徒 | | 7~8 |
| 松葉町ア・ラ・カルト | | | 9 |
| 協議会の組織、加入町会等 | | | 10 |
| 松葉町地域ふるさとづくり協議会 | | | 11 |
| 広報まつば、現在の松葉・あれこれ | | | 12 |
| 協議会の歴代役員一覧 | | | 13~14 |
| 写真で見る我が街・松葉 | | | 15~20 |
| 松葉町の航空写真 | | | 21~22 |
| 松葉町地域ふるさとづくり協議会のあゆみ | | | 23~35 |
| 松葉近隣センターの概要 | | | 36 |
| 協議会・総務安全委員会 | | | 37 |
| 協議会・文化体育委員会 | | | 38 |
| 協議会・環境委員会 | | | 39 |
| 松葉地区社会福祉協議会 | | | 40 |
| 松葉地区青少年健全育成推進協議会 | | | 41 |
| 松葉地域の人口と世帯数 | | | 42~43 |
| わが街の紹介……各町会長・自治会長・管理組合理事長 | | | 44~52 |
| 松葉を含む北部地域のまちづくり | | | 53 |
| 編集後記 | | | 54 |

ご挨拶

松葉町地域ふるさとづくり協議会

会長 藤田 武志



このたび、松葉町地域ふるさとづくり協議会が創立二十周年を迎えたことを、地域住民の皆様と共に喜び申し上げます。また、これまでの多くの先輩各位のご努力に心から感謝の意を捧げたいと思います。そ

して、その心を受け継ぎ、時代のニーズに答えながら、日夜懸命にボランティア活動に従事してくださる協議会関係委員の皆様

に心から厚く御礼申し上げます。現在、私共を取り巻く環境は国内的には政治面では郵政民営化、憲法問題等大きな課題があり、経済面ではやや明るさが見られるとはいふものの長期的にわたる不況・デフレ現象によるリス

トラ・雇用調整など、また社会面では少子高齢化による今後年金問題、介護、福祉の問題等いずれも解決に時間を要する問題が目白押しの状況にあります。また、本年三月には柏市と沼南町が合併、今秋にはつくばエクスプレスが開通と松葉町を取り巻く環境が大きく変わりますが、前者は今後の当協議会運営上なら

かのかかわりの発生が予見され、後者は交通アクセスの変化による影響が予想されるところであります。また、昨今の急激な治安の悪化は大きな社会問題となっており、松葉町においても、空き巣狙い・車上荒らし・変質者による児童生徒へのいたずらなど防犯対策をより強固に講ずることに

より安心・安全の街づくりが必要となっております。今後とも地域の商店会、諸団体、行政機関のご指導をいただきながらふるさと街づくりに邁進していく所存です。皆様のご協力ご支援をお願いいたします。

また、ここに記念誌を発行することにいたしました。この編集に当たられた方に心から感謝申し上げます。末筆になりましたが、松葉町のますますの発展と皆様のご健勝をお祈りしご挨拶といたします。

創立二十周年を記念して

柏市長 本多 晃



松葉町地域ふるさとづくり協議会が創立二十周年を迎えられましたことを、心からお祝い申し上げます。

貴協議会は、二十年の長きにわたり、地域の皆様とともに発展し、盛大に行なわれる夏の「松葉町ふるさと祭り」をはじめとする様々な地域活動・交流事業等を活発に展開されておりますことは、大変喜ばしい限りです。

これもひとえに、藤田会長をはじめ歴代役員の皆様や地域の皆様の多大なご尽力の賜物であり、ここに改めて心から敬意と感謝の意を表します。

今年度柏市は、市政施行五十周年を迎え、平成十七年は、春の沼南町との合併、秋のつくばエクスプレス開業と大きな転機を迎

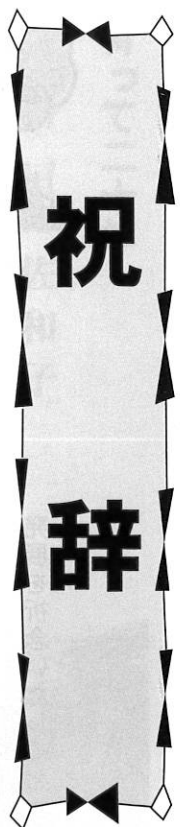
えます。

この松葉町地域にも柏の葉キャンパス駅、柏たなか駅のオーブンに伴う交通体系の変化も見られることから、地元はもとより近隣地域も含め、新たな変貌・発展を遂げていくことが期待されます。

現在柏市が進めている第四次総合計画では、「安心・希望・支えあい」をキーワードとして、誰もが安心して住み続けられるまちづくりを推進しています。

これを実現するための第一の柱として掲げている「市民との協働」による街づくりを進めるためには、常日頃から活発な地域活動や行政の各般にわたりご協力をいただいている貴協議会をはじめとする地域の皆さんと行政が、より良いパートナーシップを築き、コミュニティづくりを推進していくことが重要となります。

今後の市政へのご理解・ご協力と松葉町地域にお住まいの方々、ならびに松葉町地域ふるさとづくり協議会がますますのご発展と更なる飛躍を祈念し、お祝いの言葉といたします。



松葉町商店会協同組合

理事長 齋藤 敏文

松葉中央商店会

会長 森 忠光

創立二十周年誠にありがとうございます。

貴協議会と当商店会の関わりは、今年十四回目を迎えようとしているチャリティーゴルフ大会の運営、また、柏市では二番目の規模である8月のふるさとまつりの花火で一緒に過ごして頂いております。商いと他にこのような形で住民の皆様と活動できることは、地域との連携を密にできて非常に有難いことと思っております。

協議会の役員の皆様は、松葉町というブランドを上げようと親身になって、また苦勞を省みず行動しておられ敬服する思いです。当商店会も皆様に負けないように一同、地域の皆様に愛され親しまれる商店会を目指していく所存です。

今後も、皆様とご一緒にこの地域のために活動していく思いです。ですので宜しくお願い申し上げます。

最後に、住みよい街づくりに協議会が活躍されることをお祈り申し上げます。



松葉町地域ふるさとづくり協議会創立二十周年お祝い申し上げます。

単に二十年という年月の経過だけでなく、町の創設として、役員初め住民の皆様と並々ならぬ日々の努力の賜の結果、住み良い、景観のよい、環境のよい、立派な町ができてきたのには敬服する次第です。

毎年、「夏まつり」での町をあげての統一された取り組みは、それを象徴していると思います。

ケヤキ並木も大樹となり、この松葉町の発展の軌跡を表しているようで、また、四季を通じて色とりどりで、いろんな顔を見せてくれる松葉町の風景が大変好きです。

こんな自然に囲まれた、町のご真ん中に我が商店街があり、営業しながら、憩いの場・癒しの場としての環境作りに取り組み、子供から老人まで、住民の皆様と親しまれる商店街づくりに努力しております。

松葉町地域ふるさとづくり協議会がますますのご発展と皆様のご健勝、ご多幸を心から願ひ、お祝いの言葉とさせていただきます。

元会長 三浦 里治

松葉近隣センター所長 海老原 克己

光陰矢の如し、松葉町を終いの住居として移り住み早二十数年、幼かった子供も世帯を持ち、子の親として巣立って行った。この間自治会活動を通し協議会結成し、近隣センターは出来ても公衆電話が無くて、現在の携帯電話の普及を見る時まさに昔話である。その松葉町地域ふるさとづくり協議会も二十周年記念式典を迎える誠に感無量である。

協議会の自治連絡部会での五年間の活動を経て協議会会長を四年間、市長さん初め協議会担当職員の方々のご指導はもとより、地域住民の皆様のご協力を賜り数々のふれあいの場を得る事が出来ました事は身に余る光栄と改めて、心から感謝申し上げます。

子から孫、孫から次代へと松葉町地域をふるさとに育つ子孫からの預かりものである松葉町地域が豊かなふれあいの中でより一層すばらしい、ふるさとに日々前進する事をご祈念申し上げます。



松葉町で生まれ、育って二十年

六丁目 石垣 佐和子

私は今年で二十歳になりました。私以外の家族は引越しの経験がありますが、私は生まれてからずっと同じ家に住んでいます。

小さい頃から比べると、周りの環境はどんどん変わってしまいました。

たくさんのお店ができて便利だとは思いますが、家の近くにあった空き地がなくなってしまったことを、少し寂しく思います。

その空き地で、小さい花を摘んだり、花の蜜を吸ったりしたことを覚えていきます。

他にも、夏のお祭りは昔の私にとっても、今の私にとっても楽しみの一つです。

お祭りの日になると、いつもとは別におじいちゃん達からおこずかいをもらい、遊びに行っていました。

母には「お金を全部ちゃんと使って帰ってきたね」と言われるほどでした。

今は、浴衣が着たいからと言う理由に変わりましたが、だいたいは毎年行けるように予定を立てています。

松葉町は、駅に行くには少し不便ですが、結構好きな方だと思えます。

学校へ行ったり、遊びに行ったりするとき人混みの中に入ると改めてそう思います。

それなりに静かで、でも遊ぶところも近くにあるという今の環境が気に入っているの、老後もこんな所で暮らせたらと思えます。

松葉町地域ふるさとづくり協議会創立二十周年おめでとうございませう。

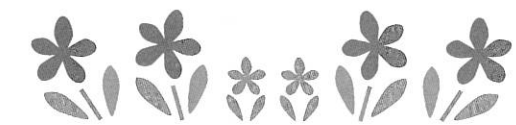
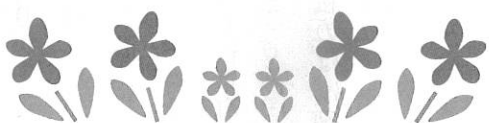
私が、この松葉町に着任して早一年八か月が過ぎようとしております。まだ短い期間ではありますが、松葉町にお住まいの皆様をはじめ、協議会の方々にも松葉近隣センター運営に多々お世話になっております。

当センターも昭和六十二年九月に、皆様のご努力の結果開館し、現在に至っております。

その間、松葉近隣センターは市内近隣センター十七館中随一の利用率となっており、同時に、当館に併設されています図書館松葉分館も、市内の分館中最大の貸し出し冊数、利用者数を誇っております。

このような中にあり、協議会も活発な活動を行い、「松葉町ふるさと祭り」にその活力をみながらしているのではないのでしょうか。

松葉町ふるさとづくり協議会も創立二十周年を超え、これからも三十年、四十年に向けて、円熟期に入ろうとしており、松葉町とともに歩む「ふるさとづくり協議会」として、今後ますますのご発展を祈念いたしております。



まっばの子

自然豊かな松葉町

松葉第一小学校五年 高野幸泉

私は松葉町の自然が好きです。松葉町には緑がたくさんあり、自然が豊富です。

春には桜などたくさんの花が咲き、つばめなどの渡り鳥も毎年たくさんやってきます。夏はセミの音が町のどこにいてもひびいて、秋はいろんな所で紅葉が見られます。また冬の雪景色もとてもきれいです。

私は松葉町で生まれ育ちました。私が幼かった頃に比べ多くの店が立ち並び交通量も増え、にぎやかになったと思います。

町の安全を守るために交通整理や防犯のパトロールをしてくれている人達の姿をよく見かけます。おかげで私達は、安全に毎日を過ごせているのだと思います。

毎年、夏に行われる夏祭りは多くの人々にぎわいます。各町会でいろんな店を出します。花火もとてもきれいで、私はいつも楽しみにしています。

これからもずっときれいで安全に過ごせる松葉町であってほしいと思います。

ぼくの住んでいる松葉町

松葉第一小学校六年 宮澤佳来

「ドン、ドドン。」

今年も、まちに待った松葉町の夏祭りが始まりました。大きなやぐらや、たくさんのお店があり、ぼくは全部のお店を回って、いろいろな物を見たり、買ったりののが好きです。お祭りの中でも特に好きなのは、打ち上げ花火です。すぐく迫力があってとてもきれいだからです。だから毎年松葉町の夏祭りをとても楽しみにしています。

他にも松葉町にはたくさんの方々がいます。ぼくの住んでいる六丁目には、もちつき大会があります。もちろん、おもちを食べ放題で、焼きいもや綿がしもあります。ピンゴ大会もあってとても盛り上がります。このような楽しい行事がたくさんあるのは、緑豊かな公園や色々な施設があるからだと思っています。これからも住みやすい町であってほしいので、大人だけでなく、ぼくたちもみんなで協力して、もっともっと楽しい松葉町にしていけたらいいなと思います。

「秋の集い」に参加して

松葉第二小学校六年 橋本英奈

十月三日、松葉近隣センターで、「秋の集い」があり今年も松二小からアリーナでの特設金管クラブによる演奏、花笠音頭とソーラン節の発表をしました。

私は、特設金管クラブに入部しています。今回、演奏した曲は、「四季・日本のメロデー」「水戸黄門」「八木節」といったお年寄りむけの三曲です。簡単な曲なのですが、この二週間前まで運動会にむけての練習をしていたのでクラブ全員で合奏する時間が少なかったためにも不安定な演奏になったと思います。

アリーナではお年寄りの方々がたくさんいて、「こんな演奏で喜んでもらえるのだろうか。」と思いつつ演奏していましたが、手拍子をしてくれる人や歌ってくれた人が目にとまり、とても松葉町の方々の暖かみを感じました。

このことは、とても私のはげみになり、演奏して良かったと思いました。

松葉ニューセラミックス

松葉第二小学校六年 岸本僚介

僕は松葉一小の子供と松葉二小の子供がおもに入っている「ニューセラミックス」、少年野球の主将をやっています。

僕達は土曜日は九時頃から、日曜日、祝日は八時頃から練習をしています。

僕達は今年優勝を二回しています。一つは十一月から六十四チームが参加したカリフ大会です。二月に決勝が行われ、優勝しました。二つめは、三月にあった柏市予選を2位で通過し、野田、流山、松戸市の上位二チームが参加する東葛大会で優勝しました。県大会は二回出場し、春は一回戦敗退。夏は二回戦敗退してしまっただけとてもいい経験になりました。

僕のチームはゴミゼロ運動などの地域の行事に参加しています。松葉二小から近隣センターまでごみを拾って歩いています。僕達は卒部するけど、後輩には僕達以上の成績を残すようにがんばってほしいです。

私たちの松葉町

松葉中学校二年 藤原果歩

私は二年前この松葉町に引っ越してきました。夏だったのでとても暑く、とにかくせみの多い所だなあ。というのが初めての印象でした。

私の住んでいる所は団地なのですが、とても景色が良く、緑がたくさんあります。そして、何より良いなあと思うところは、町の人との関わりが多くあるということです。地域と学校との関わりも深く、私たち子供のために交通指導やパトロールなどをしてくださったり、小学校でのいろいろな行事に対してもとても協力的で、本当にあたたかい街だなあと感じます。このように、地域の人たちみんなが協力的・仲良しであることは街の活性化においても、とても重要なことだと思います。

松葉町をさらに住みよい街にするため、私たち中学生としても、このすばらしい松葉町に住んでいるという誇りを忘れずに、マナーの守れる健全な中学生を目指し、成長していきたいと思っています。

松葉町と私

松葉中学校三年 是枝達彦

この松葉町に来て早十三年。十五年生きてきた中で十三年はとても大きいです。正直、来たばかりの事は憶えていませんが、僕はこの松葉町が大好きです。それはまず人と人との関わりを大切にす町だからです。

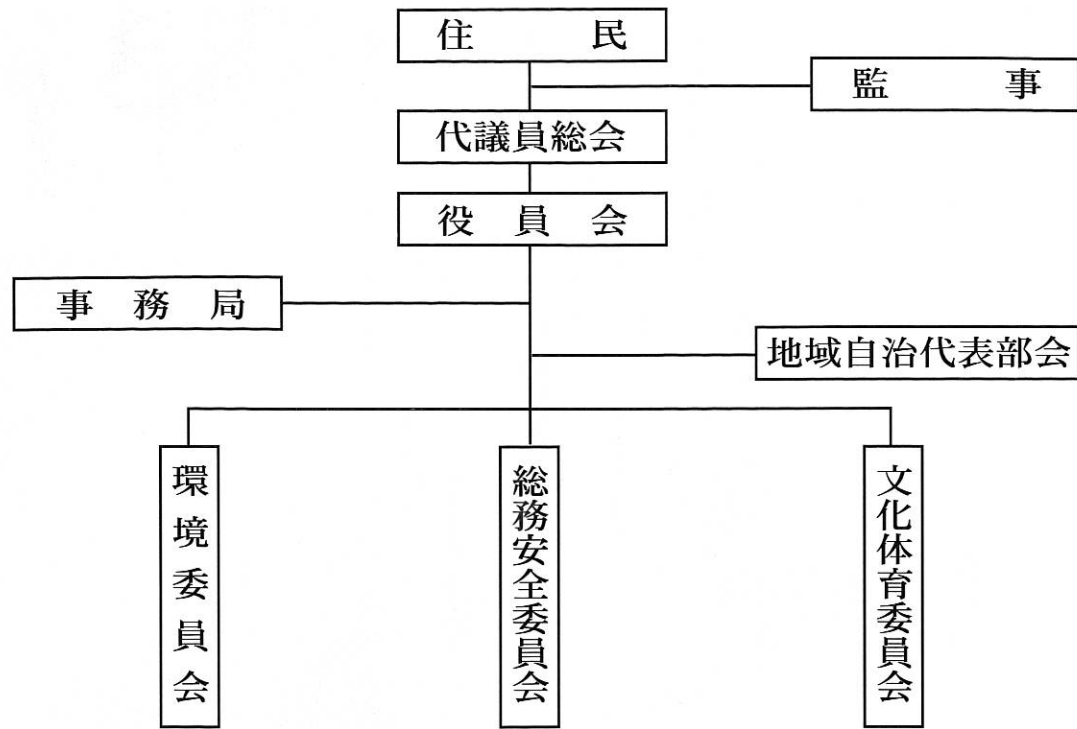
定期的に行われる「クリーンデー」や毎年行われる「ふるさと祭り」は大いに盛り上がります。先日行われた餅つき大会はお年寄りから小さな子供達みんなが集まりわきあいあいと行われました。

このように松葉町は人と人とのふれあいを大切にします。最近、思いやりの心が薄れてきている僕らの年代にはびつたり機会だと思っています。

今年僕達は「受験」という大きな壁に立ち向かいますが、皆で力を合わせ乗り越えて、また来春から地域の活動に携わっていきたいと思います。これからの松葉町のため僕らの若い力が何かに結びつけばいいなと強く思っています。

《協議会の組織図》

(平成16年度現在)



松葉町ア・ラ・カルト

「ふるさとづくり協議会」って?

柏市には「近隣センター」というコミュニティ施設が二十ヶ所あり、この施設を中心に地域住民相互のコミュニケーションを図り、街づくりを行って行く組織です。

現在、柏市にあるふるさとづくり協議会は松葉の他に、田中住民協議会(以下「協議会」は(協)と表す)

- 柏市西原地域ふるさと(協)
- 柏市富勢地域ふるさと(協)
- 柏市高田ふるさと(協)
- 柏市豊四季台地域ふるさと(協)
- 柏市中央地域ふるさと(協)
- 柏市新富地域ふるさと(協)
- 旭町近隣センター運営(協)
- 柏市新田原地域ふるさと(協)
- 柏市富里地域ふるさと(協)
- 柏市永楽台地域ふるさと(協)
- 柏市増尾地域ふるさと(協)
- 柏市光ヶ丘地域ふるさと(協)
- 南部地域ふるさと(協)
- 藤心地域ふるさと(協)
- 柏市酒井根地域ふるさと(協)

の17のふるさと協議会があります。

協議会の構成は?

各町会、自治会、管理組合、地域の文化・スポーツ団体、民生委員、児童委員、商店会、老人会などの各種の委員・団体が構成されています。



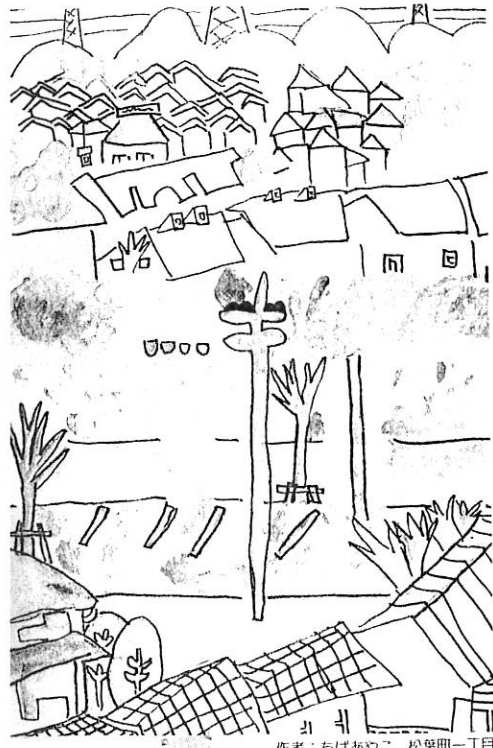
どのような活動をしているの?
住みやすく、暮らしやすい街づくりのために、市や警察に対していろいろな陳情をしています。地域住民のふれあいを図る行事として松葉町ふるさと祭り、文化祭、グラウンドゴルフ大会、チャリティーゴルフ大会、シバ桜祭り、新春の集い、ふれあい昔遊びなどを開催しています。

代議員総会とは?

年一回開かれる協議会の最高議決機関で、代議員は各町会、自治会、管理組合や他の団体から選ばれ、年間活動や予算を決定しています。

住民との関わりは?

協議会には本部の他、一部会、三委員会があり、各町会、自治会、管理組合が参加活動しています。



《加入町会等》(平成16年度現在)

加入町会・自治会数・・・15

- | | | |
|---------|--------------|----------|
| 町会・自治会名 | 一丁目第一町会 | 一丁目第一自治会 |
| | グランヴィル松葉自治会 | |
| | 北柏ライフタウン住宅 | |
| | コープタウン北柏自治会 | |
| | エステ・コート北柏自治会 | |
| | 二丁目町会 | 三丁目町会 |
| | 四丁目第一町会 | 四丁目第二町会 |
| | 五丁目町会 | 五丁目第一自治会 |
| | 五丁目第三町会 | 六丁目町会 |
| | 七丁目町会 | |

加入管理組合数・・・3

- | | | |
|-------|-----------|-----------|
| 管理組合名 | 一丁目第二管理組合 | 一丁目第二管理組合 |
| | 五丁目第二管理組合 | |

合 計・・・18

協議会創立20年で18の町会等が加入し、協議会は運営されています。

松葉町地域ふるさとづくり協議会

主な事業

本部

- 1 広報活動
- 2 松葉基金
- 3 新春の集いの開催
- 4 役員会 代議員総会の実施

ふるさと祭り実行委員会

- 1 ふるさと祭りの開催(柏祭り松葉地区)
(行事内容)盆踊り、みこしコンクール、出店

チャリティーゴルフ実行委員会

- 1 松葉町地域親睦チャリティー
ゴルフ大会の開催(年一回)

地域自治代表部会

- 1 地域防犯安全活動の推進
- 2 地域乱開発等の防止対策
- 3 ふるさと祭りをはじめ
各委員会行事への支援活動

文化体育委員会

- 1 松葉町文化祭
- 2 松葉町体育祭
- 3 ふれあいむかし遊び
- 4 ふるさと祭りへの支援活動



総務安全委員会

- 1 防犯、防災活動の推進
- 2 近隣センター利用の
各サークルとの意見交換
- 3 近隣センター大掃除の実施
- 4 ふるさと祭りへの支援活動

環境委員会

- 1 松葉ゴミゼロデーの実施
- 2 環境施設の見学
- 3 松葉中学校前の花壇の整備
- 4 ふるさと祭りへの支援活動



ふるさと協議会事務所

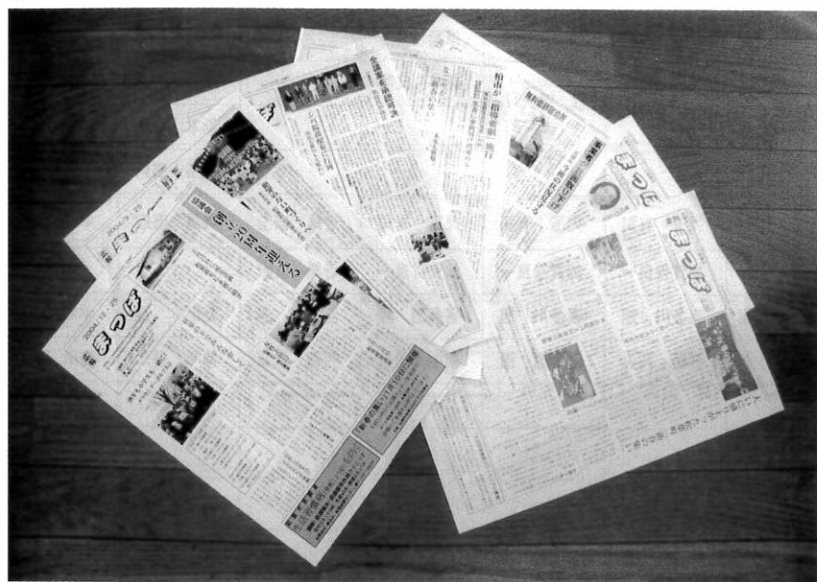
住民への情報伝達に一役

広報紙、最近ではメール・HPで

協議会発足2年後の昭和60年10月、機関紙として「広報まつば」(不定期刊)が創刊されました。その後、平成15年「ふるさと祭り特集号」から、紙面をカラー化。同年暮れにインターネットを立ち上げ、翌年早々にホームページを開設しました。協議会では今後もそれらの媒体を有効に使用して、皆様のために役立てたいとしています。

広報まつば

http://www4.point.ne.jp/~furusato-matuba/
E-mail; furusato-matuba@ma.point.ne.jp



広報まつば

現在の松葉・あれこれ

- * マルエツ前、まつり広場にて
・若いお母さんと赤ちゃんのふれあい
・子供の姿・声が少ない
・犬を連れた人のふれあい
- * 活発なサークル活動(約300団体)
- * 朝の北柏駅までの渋滞(特に雨の日)
- * 町会・ボランティア等による
防犯パトロールの実施
- * 朝・夕におけるウォーキングの活発化
- * 地金堀に白さぎ・カモの出現
- * けやき並木の景観松葉の名物も、
場合により繁みが悪影響
- * 近くに大型ショッピングセンターの出現



松葉町地域ふるさとづくり

協議会

歴代役員一覧

| | 昭和58年 | 昭和59年 | 昭和60年 | 昭和61年 | 昭和62年 | 昭和63年 | 平成元年 | 平成2年 | 平成3年 | 平成4年 | 平成5年 |
|----------------|------------------------|--------------------|-------|--------------|--------------|-------|-----------------|-------|-------|-------|-------|
| 会長 | 近隣センター設立準備会代表 高田 保典 | | 高田 保典 | 高田 保典 | 高田 保典 | 村井寿太郎 | 川上 利男 | 川上 利男 | 浜田 親雄 | 浜田 親雄 | 末継 重利 |
| 副会長 | 副代表 大蔵 隆史 | 溜川 良次 | 溜川 良次 | 部会長兼務 | 村井寿太郎 | 杉山 達家 | 下尾 晃生 山口 辰男 | 高田 武夫 | 高田 武夫 | 高田 武夫 | 菊池 章夫 |
| | 副代表 内田 勝規 | 松本 烈 | 松本 烈 | | 溜川 良次 | 松本 烈 | 木村 仁 (途中交替) | 大蔵 隆史 | 末継 重利 | 末継 重利 | 吉金卓一郎 |
| | | | | | 大坪 隆一 | 木村 仁 | 杉山 達家 (途中交替) | 山口 達夫 | 中村 志郎 | 榎本 浩一 | 榎本 浩一 |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| 事務局長 | ————— | ————— | ————— | ————— | 川上 利男 | 川上 利男 | 浜田 親雄 | 浜田 親雄 | 大蔵 隆史 | 大蔵 隆史 | 土蔵 統一 |
| 広報部 | 広報担当 田代 真人 | 溜川 良次 | 溜川 良次 | 溜川 良次 | 部長 伊藤 一博 | 青山 茂 | 青山 茂 | 鈴木 秀男 | 鈴木 秀男 | 鈴木 秀男 | 鈴木 秀男 |
| 監事 | | 監査 | | | 監事 | | | | | | |
| | ————— | 榎本喜代治 | 榎本喜代治 | 村井寿太郎 | 沢田 四郎 | 沢田 四郎 | 富田 信男 | 松浦 明 | 川上 利男 | 川上 利男 | 高田 武夫 |
| | ————— | 根本 正二 | 根本 正二 | 榎本喜代治 | 保坂 晃二 | 三浦 里治 | 高田 武夫 | 末継 重利 | 山口 達夫 | 山口 達夫 | 大蔵 隆史 |
| 渉外 | 久保寺文雄 | ————— | ————— | ————— | ————— | ————— | ————— | ————— | ————— | ————— | ————— |
| 地域自治 連絡部会長 | 総務担当 松本 烈 | 松本 烈 | 内田 勝規 | 部会長 内田 勝規 | 内田 勝規 | 内田 勝規 | 浜田 親雄 | 福原 新一 | 菊池 章夫 | 高田 直寛 | 高田 直寛 |
| 教育文化 委員会 | ————— | 教育文化部会長 青山 茂 | 青山 茂 | 青山 茂 | 委員長 青山 茂 | 佐々木一樹 | 佐々木一樹 | 佐々木一樹 | 谷口 忠浩 | 谷口 忠浩 | 谷口 忠浩 |
| 体育委員会 | ————— | 保健体育部長 岡田 安弘 | 大蔵 隆史 | 大蔵 隆史 | 委員長 大蔵 隆史 | 大蔵 隆史 | 大蔵 隆史 | 堀 昌二郎 | 鎌田 紘志 | 北原 文成 | 北原 文成 |
| 環境委員会 | ————— | 生活環境部会長 上田 満男 | 上田 満男 | 佐野 博 | 委員長 佐野 博 | 佐野 博 | 佐野 博 | 西本 章治 | 小林 俊雄 | 渡辺 茂宣 | |
| 近隣センタ 委員会 | ————— | 近隣センター部会長 中村 志郎 | 中村 志郎 | 中村 志郎 | | | | | | | |
| 防犯交通 安全委員会 | ————— | ————— | ————— | ————— | 委員長 溜川 良次 | 加藤 豊 | 高木 亮一 | 伊藤 澄夫 | 西本 章治 | 西本 章治 | |
| 福祉 委員会 | ————— | 福祉部会長 笹川 三夫 | 笹川 三夫 | 笹川 三夫 | 委員長 酒井 光江 | 酒井 光江 | 溜川 良次 | 横山 順造 | 横山 順造 | 横山 順造 | 海老原天生 |
| 大型店対策 特別委員会 | ————— | ————— | ————— | ————— | 委員長 松浦 明 | 松浦 明 | ————— | ————— | ————— | ————— | ————— |
| 会計 | 清水 博充 | 清水 博充 岡田 安弘 | 清水 博充 | 根本 正二 | 高橋 恵子 | 高橋 恵子 | 高橋 恵子 | 高橋 恵子 | 高橋 恵子 | 高橋 恵子 | 高橋 恵子 |

| | 平成6年 | 平成7年 | 平成8年 | 平成9年 | 平成10年 | 平成11年 | 平成12年 | 平成13年 | 平成14年 | 平成15年 | 平成16年 |
|----------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 会長 | 末継 重利 | 土蔵 統一 | 土蔵 統一 | 三浦 里治 | 三浦 里治 | 三浦 里治 | 三浦 里治 | 吉田 宏 | 吉田 宏 | 藤田 武志 | 藤田 武志 |
| 副会長 | 高田 武夫 | 高田 直寛 | 高田 直寛 | 五十嵐 徹 | 横山 順造 | 横山 順造 | 吉金卓一郎 | 永嶋 啓二 | 藤田 武志 | 木村 仁 | 稲村 利治 |
| | 菊池 章夫 | 原口 俊郎 | 谷口 忠浩 | 谷口 忠浩 | 吉金卓一郎 | 吉金卓一郎 | 谷口 忠浩 | 藤田 武志 | 庄本 豊 | 庄本 豊 | 庄本 豊 |
| | 渡辺 信明 | 五十嵐 徹 | | 横山 順造 | 五十嵐 徹 | 高田 直寛 | 藤田 武志 | 五十嵐俊生 | 太田 真一 | 寺尾 直宏 | 新木 隆司 |
| | | 谷口 忠浩 | | 吉金卓一郎 | 高田 直寛 | 谷口 忠浩 | 福岡 英寿 | | 木村 仁 | 稲村 利治 | 秋元 康雄 |
| | | | | | 谷口 忠浩 | | 花井 文明 | | 濱野 明雄 | 濱野 明雄 | 志賀 保文 |
| | | | | | | | | | 新木 隆司 | 新木 隆司 | 森本 憲一 |
| 事務局長 | 土蔵 統一 | 渡辺 信明 | 五十嵐 徹 | 高田 直寛 | 児玉 有司 | 児玉 有司 | 児玉 有司 | 寺尾 直宏 | 寺尾 直宏 | 中塚 啓一 | 中塚 啓一 |
| 広報部長 | 榎本 浩一 | 鈴木 秀男 | 鈴木 秀男 | 和田 高弥 | 加賀谷良一 | 加賀谷良一 | 加賀谷良一 | 寺尾 直宏 | | | |
| 監事 | 吉金卓一郎 | 榎本 浩一 | 榎本 浩一 | 原口 俊郎 | 喜多川 旭 | 喜多川 旭 | 喜多川 旭 | 芝原 達 | 芝原 達 | 永嶋 啓二 | 寺尾 直宏 |
| | 谷口 忠浩 | 工藤 鈴夫 | 工藤 鈴夫 | 森垣 利夫 | 森垣 利夫 | 五十嵐 徹 | 横山 順造 | 村田 武弘 | 永嶋 啓二 | 吉田 宏 | 齋藤 敏文 |
| 顧問 | 浜田 親雄 | 浜田 親雄 | 浜田 親雄 | | | | | | | | |
| | 川上 利男 | 川上 利男 | 川上 利男 | | | | | | | | |
| 地域自治 連絡部会長 | 三浦 里治 | 三浦 里治 | 三浦 里治 | 溜川 良次 | 花井 文明 | 花井 文明 | 杉山 達家 | 溜川 良次 | | | |
| 地域自治 代表部会長 | | | | | | | | | 溜川 良次 | 五十嵐 徹 | 五十嵐 徹 |
| 総務安全 委員長 | | | | | | | | | 磯野 康博 | 新井 明 | 栗林 達也 |
| 教育文化 委員長 | 山中 修二 | 児玉 有司 | 児玉 有司 | 鐘ヶ江達哉 | 鐘ヶ江達哉 | 鐘ヶ江達哉 | 福元 浩 | 岩田 作 | | | |
| 体育 委員長 | 五十嵐 徹 | 染谷登美男 | 飯田 均 | 干場 信正 | 藤田 武志 | 藤田 武志 | 芳野 栄 | 池田 広和 | | | |
| 文化体育 委員長 | | | | | | | | | 福川 貞明 | 秋元 康雄 | 井上 周一 |
| 福祉 委員長 | 海老原天生 | 伊藤 満 | 伊藤 満 | 伊藤 満 | 藍原 住光 | 吉田 宏 | 吉田 宏 | | | | |
| 環境 委員長 | 渡辺 茂宣 | 洪田 実 | 福岡 英寿 | 福岡 英寿 | 福岡 英寿 | 福岡 英寿 | 木村 守 | 澤田 賢治 | 稲村 利治 | 笹本 芳文 | 峯村 英雄 |
| 近隣センタ 運営委員長 | 横山 順造 | 横山 順造 | 横山 順造 | 渡辺 賢一 | 渡辺 賢一 | 渡辺 賢一 | 渡辺 賢一 | 滝 順一 | | | |
| 防犯交通 安全委員長 | 高山 眞美 | 高山 眞美 | | | | | | | | | |
| 防災 委員長 | | | 友田 隆 | 梶原 亘 | 福原 新一 | 福原 新一 | 昆 典夫 | 太田 真一 | | | |
| 特別事務局長 | 大蔵 隆史 | 大蔵 隆史 | | | | | | | | | |
| 会計担当 | 高橋 恵子 | 高橋 恵子 | 高橋 恵子 | 高橋 恵子 | 高橋 恵子 | 高橋 恵子 | 高橋 恵子 | 戸田 幸子 | 戸田 幸子 | 戸田 幸子 | 戸田 幸子 |



テニスコート附近

～最近～



地金掘



春の5丁目方面風景



陸橋上より公設市場方向



マルエツ前広場



5丁目、松葉あいさつ通り



中央商店街

～入居の頃～
(昭和56年)



ライフタウン中央バス停の陸橋より



建設が進む高層住宅



中央商店街より4丁目方面



6丁目の戸建住宅の建設始まる



6丁目の公園附近

写真でみるわが街…松葉



文化祭



2001年松葉町ふるさと祭り



ふるさと祭り



2001年松葉町ふるさと祭り

わたしも
街づくりに参加しました



フリーマーケット



シバ桜植栽



市の福祉バスでリサイクル工場見学



新春の集い



中学校前花壇の植栽風景



ふれあいむかしあそび



グラウンド・ゴルフ大会で準備体操



市民講座・寒仕込み味噌づくり



防犯パトロール隊の結成



クリーンデーに参加

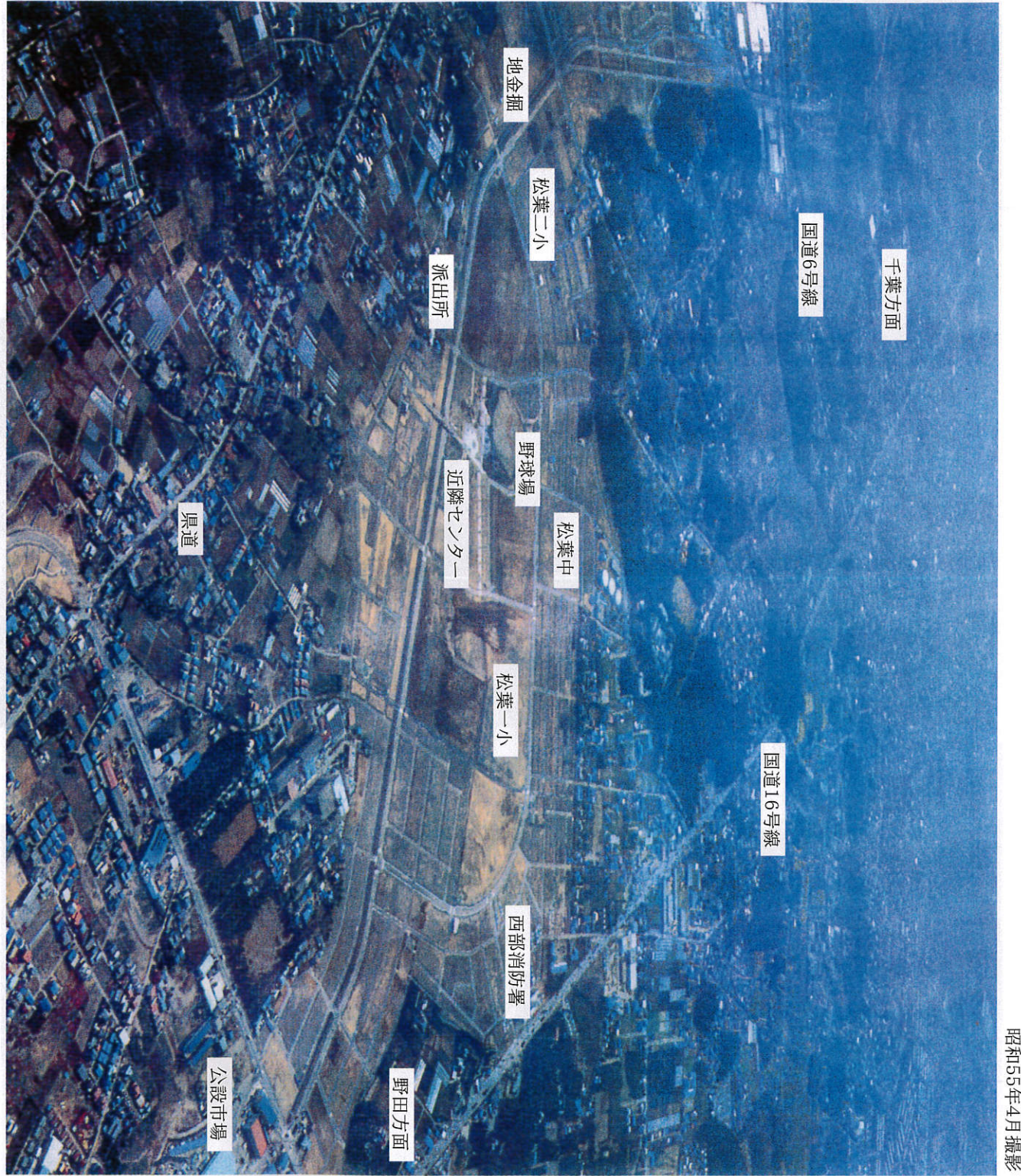
いろいろな
イベント



学校ボランティアによる交通指導



平成11年撮影



昭和55年4月撮影

松葉町地域ふるさとづくり協議会のあゆみ

昭和56年(1981年)度

この頃より入居開始

昭和58年(1983年)度

- 9月・町会・自治会・管理組合の代表者が初めての会合を開く
- 11月・松葉町近隣センター設立準備協議会発足
- 2月・「松葉町近隣センター設立準備協議会だより」発行・人口九九〇八名

昭和59年(1984年)度

- 4月・近隣センターで建設打ち合わせ
- ・近隣センター設立準備協議会が、ふるさとづくり協議会設立で協議
- 6月・近隣センター早期設置の要望書を市に提出
- 7月・松葉町地域ふるさとづくり協議会設立準備会が発足
- 9月・松葉町地域ふるさとづくり協議会が発足
- ・近隣の近隣センター見学会実施
- 11月・近隣センター建設促進の署名実施
- ・協議会だより発行
- 12月・松葉町地域ふるさとづくり協議会発足の式典

・八千三百名の署名を添えて近隣センター設置要望書を市長に提出

昭和60年(1985年)度

- 8月・近隣センター施設内容要望のアンケート実施
- ・少年野球ニューセラミック県大会優勝
- ・納涼映画会実施
- 9月・近隣センター建設部会設置
- 10月・マルエツ建設説明会
- ・第1回松葉町芸能フェスティバル開催
- ・陶芸教室開催
- 12月・手賀沼汚染を考える会開催
- 2月・市長と幹部を迎え地域座談会開催
- 3月・布施弁天にハイキング(250名)

昭和61年(1986年)度

- 5月・グラウンド・ゴルフ大会開催
- ・「松葉町と常磐新線」の講演会開催
- 6月・柏市ゴミゼロデー
- 7月・協議会会則検討委員会発足
- 9月・近隣センター建設着工
- ・市主催の防災訓練開催

- ・敬老会・芸能フェスティバル開催
- 10月・広報(近隣センター特集)発行
- 2月・大型店対策特別委発足(マルエツ・ハイキングデー(226名))

昭和62年(1987年)度

- 7月・第1回代議員総会開催
- 9月・臨時代議員総会開催
- 10月・近隣センターオープン祝賀会
- ・第2回敬老会開催
- ・近隣センター使用開始
- ・近隣センターオープン記念芸能フェスティバル開催
- 11月・第2回グラウンド・ゴルフ大会開催
- 2月・「手賀沼を考える集い」開催
- 3月・第3回ハイキング雪でセンターで



敬老会

昭和63年(1988年)度

- 5月・大型店建設計画説明会開催
- ・第2回代議員総会開催
- 6月・柏市ゴミゼロデー
- ・マルエツ建設工事開始
- 8月・第1回松葉町ふるさと祭り開催(今回から中央商店会と交代)
- 9月・手賀沼船上見学会(排水の行方)
- ・第3回敬老会開催
- 10月・路上駐車防止看板
- ・「北部総合整備計画」研修会
- ・アサヒビール工場前道路拡幅工事
- ・市清掃工場見学会
- ・広報発行
- 11月・第1回文化祭開催
- ・第3回グラウンド・ゴルフ大会開催
- ・マルエツ工事現場視察
- ・街路灯設置要請
- 2月・市へ陳情①アサヒビール工場前の交通渋滞②JR北柏駅階段増設
- ・岩手県林業水産部・漁業協同組合からの海産物で料理講習会を開催

平成元年(1989年)度

- 5月・柏市及び柏警察署へ陳情
- ①テニスコート横に信号機設置
- ②2丁目バス通り駐停車禁止
- ・平成元年定期代議員総会開催
- 6月・柏市ゴミゼロデー
- 8月・手賀沼船上見学会参加

・第2回松葉町ふるさと祭り開催

- 9月・敬老会開催(対象者247名)
- 10月・第4回グラウンド・ゴルフ大会開催
- 11月・第2回文化祭開催
- ・松葉町誕生10周年記念式典開催
- 12月・JR東日本本社に陳情
- ①北柏駅階段増設
- ・クリーンピクニック実施
- 1月・賀詞交換会開催
- ・凧作り・凧上げ大会



平成3年ふるさと祭り

平成2年(1990年)度

- 5月・平成2年度定期代議員総会開催
- 6月・柏市ゴミゼロデー
- ・松葉町商店会協同組合、両小学校と共同で街角に花を植える
- 7月・第1回ちびっこグラウンド・ゴルフ大会開催
- ・松葉町で柏市少年野球国際親善大会開催

大会開催

- 8月・第3回松葉町ふるさと祭り開催
- 9月・敬老会開催(対象者256名)
- ・手賀沼船上見学会参加
- 11月・松葉中学校10周年記念式典
- ・第3回文化祭開催
- 12月・凧作り大会開催
- 1月・凧上げ大会開催
- ・賀詞交換会開催
- 2月・第1回福祉講演会開催

平成3年(1991年)度

- 5月・平成3年度定期代議員総会開催
- 6月・柏市グラウンド・ゴルフ協会設立記念大会参加
- ・第2回福祉講演会開催
- 8月・第4回松葉町ふるさと祭り開催
- 9月・敬老会開催(対象者288名)
- 11月・第4回文化祭開催
- ・第1回町会対抗グラウンド・ゴルフ大会開催
- ・柏市長、柏警察署長へ陳情
- ①街路灯と信号機設置
- 12月・東武バスとの懇談会
- ①ラッシュ時の積み残し
- ②深夜バスの増便
- ・こま作り、こま回し(伝承遊び)大会開催
- 1月・賀詞交換会開催
- 2月・利根川へサケの稚魚放流

- ・第1回松葉町チャリティーゴルフ大会へ協力(商店会有志主催)
- 3月・第1回ふれあいのど自慢大会開催

平成4年(1992年)度

- 5月・平成4年度定期代議員総会開催
- ・柏市ゴミゼロデー
- 6月・柏市に陳情①地域開発による道路等整備②北柏駅階段増設③北部開発に伴う交通量④松葉町内歩道凹凸補修
- 8月・第5回松葉町ふるさと祭り開催
- 9月・敬老会開催(対象者305名)
- ・手賀沼クリーンピクニック参加
- ・松葉中学校前花壇の植え替え
- 10月・第2回町会対抗グラウンド・ゴルフ大会開催
- 11月・第5回文化祭開催
- ・柏市長に歩道の補修を陳情
- ・迷惑駐車禁止看板設置
- 12月・松葉町クリーンデー
- ・こま、羽子板作り(伝承遊び)
- 1月・賀詞交換会開催
- 2月・福祉講演会開催
- 3月・第2回ふれあいのど自慢大会開催
- ・第2回松葉町チャリティーゴルフ大会開催(今回から協議会主催)
- ・ふれあい映画会開催

- ・ひとり暮らしの方を囲む花見会開催
- ・東武バスとの懇談会開催

平成5年(1993年)度

- 5月・平成5年度定期代議員総会
- ・柏市ゴミゼロデー
- 8月・第6回松葉町ふるさと祭り開催
- 9月・敬老会開催(対象者337名)



10周年記念式典

- ・手賀沼クリーンピクニック参加
- 10月・親子三代ふれあいグラウンド・ゴルフ大会開催
- 11月・第6回松葉町文化祭開催
- 12月・松葉町クリーンデー開催
- ・こま、羽子板作り(伝承遊び)
- 1月・賀詞交換会
- ・本多市長との懇談会開催

- 2月・横浜の施設視察の福祉研修会
- 3月・第3回松葉町チャリティーゴルフ大会
- ・東武バスとの懇談会開催
- ・ふれあい映画会開催
- ・ひとり暮らしの方を囲む花見会開催

平成6年(1994年)度

- 5月・平成6年度定期代議員総会
- ・柏市ゴミゼロデー
- ・陳情が実現、JR北柏駅階段増設工事始まる
- 8月・第7回松葉町ふるさと祭り
- 9月・敬老会開催(対象者362名)
- ・市清掃工場見学
- 11月・第7回松葉町文化祭開催
- 教育文化フェスティバル
- 環境フェスティバル
- グラウンド・ゴルフ大会
- 交通安全フェスティバル
- 北海道七飯町観光物産展
- 12月・こま、羽子板作り(伝承遊び)
- ・松葉町線道路整備に関する陳情
- ・「松葉町地域ふるさとづくり協議会」発足10周年記念式典開催、記念誌発行
- 2月・センター連絡協議会会議
- 3月・東武バスとの懇談会
- ・第4回松葉町チャリティーゴルフ大会
- ・ふれあい映画会

平成7年(1995年)度

- 5月・平成7年度定期代議員総会
- 以下4自治会の加入が実現した
- ・一丁目第三団地管理組合
- ・グランヴィル松葉自治会
- ・コープタウン北柏自治会
- ・北柏ライフタウン住宅
- 17町会となる
- ・広報「まっぴ」5月より年4回発行
- 6月・柏市ゴミゼロデー
- ・松葉中前の花壇植栽年3回
- 8月・第8回松葉町ふるさと祭り
- 9月・清掃・リサイクル工場見学会
- ・敬老会開催(対象者405名)
- 10月・手賀沼クリーンピクニック参加
- ・福祉施設視察研修会
- 11月・第8回松葉町文化祭開催
- ・教育文化フェスティバル
- ・展示会、芸能会、音楽会、茶会
- ・将棋大会、子供将棋大会
- ・囲碁大会、七飯町観光物産展
- ・環境フェスティバル
- ・交通安全フェスティバル
- ・ふれあいグラウンドゴルフ大会
- 12月・クリーンデー
- ・ふれあい伝承遊び
- ・こま、羽子板、お手玉、けん玉

- 折り紙、あやとり、かるたとり
- 1月・新春たこあげ大会
- 2月・節分豆まき大会
- ・市へ『地域コミュニティ計画書』を提出
- 3月・第5回松葉町チャリティーゴルフ大会
- ・ふれあい映画会
- ・ひとり暮らしのお年寄りを囲む会
- ・東武バスとの懇談会

新たに次の行事を支援した

- ・ナイトバザール
- ・年末カウントダウン
- ・コミュニティフォーラム
- ・シバザクラの植栽
- ・グリーンフェアあかしわ
- ・広報「まっぴ」5・7・9・12月の4回発行

その他

- ・防災体制の確立・訓練
- ・ゴミ分別化の徹底化
- ・電磁波障害の対策
- ・松葉町基金運営委員会の発足
- ・近隣センター運営委員会を中心にセンター活用の内容充実を図る



平成7年11月5日 文化祭



平成7年9月24日 防災訓練

平成8年(1996年)度

- 4月・先に市に提出した「地域コミュニティ計画書」市長はじめ幹部に説明
 - ・シバザクラ祭り
 - ・松葉町ライブコンサート
 - ・シバザクラ歩こう会
 - ・広報「まつば」年4回発行
 - ・ひとり暮らしのお年よりを囲む会
- 5月・平成8年度定期議員総会
 - ・エステ・コート北柏自治会加入
 - ・決定、18町会・自治会・管理組合になる
- 6月・柏市ゴミゼロデー
 - ・松葉中前花壇年3回植栽
- 7月・柏祭りに参加
- 8月・第9回松葉町ふるさと祭り
- 9月・敬老会開催(対象者432名)
 - ・清掃、資源リサイクル工場、
 - ・処分場及び手賀沼の船上見学
 - ・市主催総合防災訓練に参加
- 11月・第9回松葉町文化祭
 - ・教育・文化フェスティバル
 - ・展示会、芸能会、音楽会、茶会
 - ・将棋・囲碁大会
 - ・スポーツフェスティバル
 - ・ふれあいグラウンド・ゴルフ大会
 - ・環境フェスティバル
- 12月・ふれあい伝承遊び
 - ・こま、羽子板、けん玉、お手玉
 - ・折り紙、かるたとり
- 3月・第6回松葉町チャリティーゴルフ大会
 - ・市代表で「地域づくり団体千葉県協議会」に参加
 - ・市へ再度要望した結果：
 - ① 防犯灯は9年度よりバス通りに順次設置決定
 - ② グランヴィル松葉自治会の道路補修要望は工事完了
 - ・東武バスとの懇談会
 - ・各町会・自治会・管理組合単位に防災組織の結成促進
 - ・小域福祉圏地域ぐるみ福祉ネットワーク事業推進委員会結成



平成8年 クリーンフェア



平成8年 ふるさと祭り盆踊り

平成9年(1997年)度

- 4月・シバザクラ祭り
 - ・松葉ライブコンサート
 - ・シバザクラ歩こう会
 - ・広報「まつば」年2回発行
- 5月・平成9年度定期議員総会
 - ・協議会分担金10年度より世帯当り50円値上げ150円を承認
 - ・また、まつり協賛金も100円値上げ
 - ・世帯当り300円で承認
- 6月・柏市ゴミゼロデー実施
- 7月・柏祭りに参加
 - ・松葉中前花壇植栽年3回実施
- 8月・第10回松葉町ふるさと祭り
- 9月・敬老会70歳以上の対象者の中から268名の方が参加
 - ・清掃・資源リサイクル工場、
 - ・処分場及び手賀沼の船上見学
 - ・教育・文化フェスティバル
 - ・展示会、芸能会、音楽祭、茶会
 - ・将棋・囲碁大会、51団体、7個人が参加
 - ・環境フェスティバル
 - ・栄養・リサイクルの紙芝居
 - ・牛乳パック利用の小物作り等
 - ・スポーツフェスティバル
- 11月・第10回松葉町文化祭
 - ・市代表で「地域づくり団体千葉県協議会」の各行事に参加
 - ・各サークル活動の充実を図り、文化祭等への参加・支援に努めた
 - ・コミュニティカレッジ講座に参加
 - ・防災対策、緊急時の心得、普通救命を研修
- 12月・ふれあい伝承遊び
 - ・こま、羽子板、けん玉、お手玉
 - ・折り紙、かるたとり
- 2月・福祉施設視察・研修会
- 3月・ふれあい映画会参加者450名
 - ・ディズニー「101」
 - ・ひとり暮らしの老人を囲む会
 - ・第7回チャリティーゴルフ大会
- その他
 - ・地域防災体制の確立に努め
 - ・今年度は12町会で自主防災組織ができ、他町会も準備中である
 - ・リサイクル市も開催、子ども達の商才に驚く
 - ・北柏駅北口地区の整備促進に関し署名活動をし、市へ提出
 - ・市長との地域懇談会開催
 - ・歩道の補修を要請、補修完了



平成9年 ふるさと祭り前の打ち合わせ



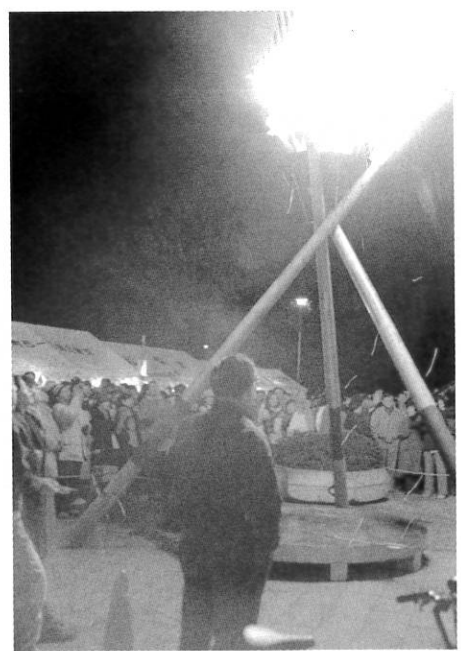
平成9年1月 新年祭

平成10年(1998年)度

- 4月・シバザクラ祭り
写生・写真の展示
・シバザクラ歩こう会
- 5月・平成10年度定期代議員総会
・茶道サークルによる野点
・県より全国宝くじ分配金250万円
の交付。パソコン、コピー機、野
外放送機、和太鼓、FAX電話機
・柏市ゴミゼロデー
- 7月・市老人保健施設見学・研修
・柏祭りに参加
・めいわく駐車立看板設置
・防災講演会開催
・七夕祭り
- 8月・松葉中前花壇植栽年3回
・広報「まつば」年4回発行
8月・第11回松葉町ふるさと祭り
9月・清掃・資源リサイクル工場
処分場及び手賀沼の船上見学
・敬老会(対象者518名)
出席者158名
- 10月・防災避難誘導及び防火訓練実施
11月・第11回松葉町文化祭
・教育・文化フェスティバル
展示会、芸能会、音楽会、茶会
将棋・囲碁大会、ジャズコンサート
- 環境フェスティバル
・ゴミ減量、消費生活コーディネーター
のパネル
・松葉町クリーンデー
・グラウンド・ゴルフ大会
12月・ふれあい伝承遊び
こま、羽子板、けん玉、お手玉、
折り紙、かるたとり遊びの後
特製とん汁でくつろぐ
・カウントダウン新年祭
1月・賀詞交換会
2月・節分祭
3月・第8回松葉町チャリティゴルフ大会
・ふれあい映画祭
・ひとり暮らしの高齢者を囲む会
・松葉町地域防災連絡会議
- その他
・地区社協設立準備委員会を開催
設立のための協議を行った
・「北柏駅北口周辺の道路整備促進」
の陳情を市長と市議会議長に行う
・「地域づくり団体千葉県協議会」に
参加
・地域防災訓練、地域防災連絡会を
実施、防災活動の啓蒙を行う



平成10年 ハワイアンフラダンス



平成10年12月31日 カウントダウン新年祭

平成11年(1999年)度

- 4月・シバザクラ歩こう会
・シバザクラ祭り
- 5月・柏市ゴミゼロデー
7月・柏祭りに参加
・松葉中前花壇植栽年3回実施
・七夕祭り
- 松葉町地域緊急連絡会議、暴漢事
件発生で防犯対策
広報「まつば」年4回と号外『暴漢
事件発生』発行
- 8月・第12回松葉町ふるさと祭り
9月・敬老会(松葉地域福祉ネットワー
ク
事業推進委員会主催で実施)対象者
591名中、189名参加
・コミュニティカレッジ参加
(防災活動、救命・応急手当)
- 10月・第12回松葉町文化祭
・教育・文化フェスティバル
展示会、芸能会、音楽会、茶会
将棋・囲碁大会
・消費生活コーディネーターパネル
・軽音楽の夕べ
・松葉町地域ふれあい大運動会を
協議会結成15周年行事として実施
松葉中で340名参加
・清掃・資源リサイクル工場、
- 11月・老人福祉施設見学
・防災避難誘導訓練(320名)
・市代表で「地域づくり千葉県
協議会」に参加
- 12月・ふれあい伝承遊び
こま、羽子板、けん玉、お手玉
折り紙、かるたとり(200名)
・カウントダウン新年会
・松葉町クリーンデー
- 3月・ふれあい映画会(青少協共催)
・ひとり暮らし老人を囲む会
・第9回松葉町チャリティゴルフ
大会
・基金より電動車イス4台と保管庫
購入
- その他
・市へ陳情「松葉中西側交差点の
信号機移設等改善」を提出
・「松葉地区社会福祉協議会」の
設立準備委員会を前年度から
つくり協議してきたが、市の
行革委員会の答申から設立を
一時中断することとした
(平成13年7月に地区社協は
正式に設置された)



平成11年7月5日 七夕飾りつけ



平成11年 文化祭健康食品塩分コーナー

平成12年(2000年)度

- 4月・シバザクラ祭り
茶道サークルの野点、減量クイズ
フリーマーケット
 - 5月・平成12年度定期代議員総会
・柏市ゴミゼロデー
 - 7月・七夕祭り
・柏祭りに参加
 - ・松葉中前花壇植栽年3回
・清掃・資源リサイクル工場、処分場の見学会
 - ・広報「まつば」年2回発行
 - 8月・第13回松葉町ふるさと祭り
 - 9月・敬老会(主催、松葉地区福祉ネットワーク事業推進委員会)該当者614名中、232名出席
 - 10月・第2回松葉町地域ふれあい大运会
雨天順延のため参加は180名
 - 11月・第13回松葉町文化祭
・教育・文化フェスティバル
・展示会、芸能会、音楽会、茶会
・将棋・囲碁大会
・消費生活コーデネイター及び
・ゴミ減量パネル展示
・軽音楽の夕べ
・松葉町クリーンデー
 - 12月・老人福祉施設訪問研修
-
- ・ふれあい伝承遊び(青少協共催)
こま、羽子板、けん玉、お手玉
折り紙、あやとり、かるたとり
割り箸鉄砲(参加150名)
 - ・カウントダウン新年会
 - 2月・福祉講演会
 - 3月・ふれあい映画会
 - ・ふれあいグラウンド・ゴルフ大会
・第10回松葉町チャリティゴルフ大会
・ひとり暮らし高齢者を囲む会
 - その他
・要望に基づき、街路灯の増設
取り付け位置等陳情
・地域防災連絡会議を開き、
防災活動の啓発を行った
・バス停留所付近のポイ捨てゴミの
収集を実施、美化啓発
・柏市ふるさとづくり協議会等連合
会に参加・研修
・コミュニティリーダー育成実行委員
会に参加



平成12年 松葉中前の花壇に植栽



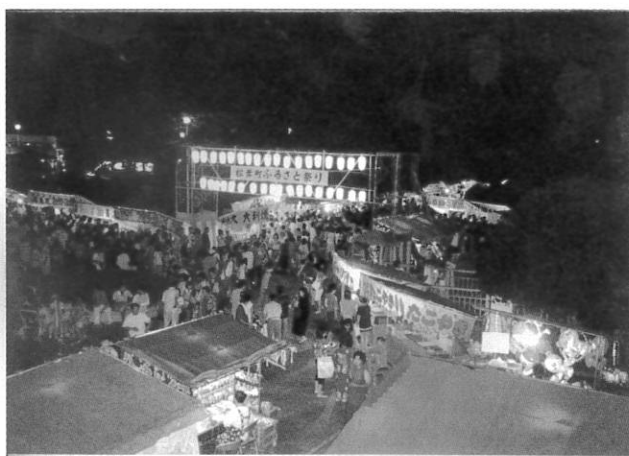
平成12年 文化祭

平成13年(2001年)度

- 4月・第11回松葉町チャリティゴルフ大会
・シバザクラ祭り、フリーマーケットも実施
 - 5月・平成13年度定期代議員総会
組織のスリム化(一部5委員会から一部3委員会制に)
敬老会等福祉関係は松葉地区社会福祉協議会が担当実施
・柏市ゴミゼロデー
 - ・広報「まつば」年4回発行
 - 7月・松葉中前花壇の散水手入れ
 - 8月・第14回松葉町ふるさと祭り
例年のみこし・踊り・出店・花火等
裏方の安全・警備・交通整理とゴミの分別収集、協賛金集め、会場の設営・撤去
 - 10月・防災委員会で「各自治会防災装備品」のアンケート実施
 - 11月・第14回松葉町文化祭
・教育文化フェスティバル
・展示会、芸能会、音楽会、茶会
・将棋・囲碁大会
・ゴミ減量と生活コーデネイター
展示・啓蒙活動
・ふれあいグラウンド・ゴルフ大会
-
- ・防災安全の講演会
 - 12月・松葉町クリーンデー
・環境と防犯の見学・研修会
・ふれあい伝承遊び(青少協共催)
こま、羽子板、けん玉、お手玉
折り紙、あやとり、ゴムてっぽう
カルタとり
・近隣センターのサークル利用と有料化問題、ふるさと協との活動で懇談会
 - 1月・新春の集い
 - ・県西部防災センター見学
 - 2月・柏市と姉妹関係の福島県只見町雪祭りにバス旅行実施
・柏市ふるさとづくり協議会等連合会に参加、2月は当協議会で開催
3月・松葉町内の消防・防災設備、備蓄倉庫、井戸等の見学会実施
 - その他
・ふるさとづくり協議会の周年事業に備えるため周年事業基金を設立
・市に対し、街路灯の増設と取り付け位置、松葉中角の交差点の信号機問題で前年に引き続き陳情打ち合わせをした



平成13年 グラウンドゴルフ大会



平成13年 ふるさと祭り全体夜景

- 4月・シバザクラ祭り、各校のブラスバンドや音楽芸能会も開催
- ・リサイクルバザー(今年より市のグリーンフェアは取りやめ)
- 5月・平成14年度定期代議員総会
只見町雪祭り参加見送り
柏市ゴミゼロデー
- ・広報「まつば」年4回発行
- 6月・松葉中前花壇の除草
散水等長期休校中に実施
- 8月・第15回松葉町ふるさと祭り
- 9月・七都県市合同防災訓練に地元市として当町会から130名参加
- 11月・第15回松葉町文化祭
展示会、芸能音楽会、茶会
将棋・囲碁会、環境問題啓発の
パネル、リサイクル作品の展示
・グラウンド・ゴルフ大会
市へ要望「松ヶ崎大山台地区に
おけるショッピングセンター計
画」に伴い、交通問題の発生が懸
念されるため、全町会・自治会の
代表者の同意をまとめ、提出(道
路計画の早期実現、信号機設置等)
- 12月・県西部防災センター見学会
ふれあい伝承遊び(青少協共催)

- こま、ペーゴマ、羽子板、けん玉
お手玉、折り紙、あやとり、カル
タ取りを実施
- ・近隣センターで例年のようにセン
ターの大掃除。サークルや団体代
表がセンター側とヒアリング実施
- ・松葉町クリーンデー
- ・清掃・資源リサイクル工場
最終処分場見学
- 1月・新春の集い
- 2月・市民講座「つくばエクスプレスと
北部のまちづくり」開催
- 3月・第12回松葉町チャリティゴルフ
大会

- その他
- ・東武バス営業所との懇談会
 - ・まちづくり市民講座の開催
 - ・「コミュニケーションリーダー講座」
を市と共催、参加
 - ・柏市ふるさとづくり協議会等連合
会連絡会に参加



- 4月・シバザクラ祭り、フリーマーケット
シバザクラの苗配布
- 5月・平成15年度定期代議員総会
・インターネットの開設
・柏市ゴミゼロデー
・広報「まつば」年4回発行、3回目から
カラー印刷になる
- 7月・松葉中前花壇の手入れと散水を
学校側と協力し実施
- 8月・第16回松葉町ふるさと祭り
- 10月・県西部防災センター見学会
震度7の体験、避難訓練と
応急救護の研修等
- 11月・第16回松葉町文化祭
展示会、芸能・音楽会、茶会
将棋・囲碁会、環境問題の
パネル展示とクイズ、牛乳パック
利用の工作紹介
・グラウンド・ゴルフ大会
・ホテル・オークス跡の「無料低額宿泊
所」に関する請願を本多柏市長と成島
市議会議長に、松葉町地域ふるさと
づくり協議会会長名で提出。
(請願書名・ホテルオークス跡の無料
低額宿泊所設置計画見直し方柏市な
らびに千葉県に要請したい旨の請願)
- 12月・福祉バスで環境施設見学会(市の

- リサイクルプラザ、東洋ガラス千葉
工場で再生ガラス瓶製造等)
 - ・ふれあいむかし遊び(伝承)
青少協と共催で、こま、ペーゴマ
メンコ、はねつき、けん玉
お手玉、綾取り、折り紙、かるたとり
近隣センターで大掃除の後、サークル・
団体の代表が利用で懇談会
 - ・松葉基金から3団体に助成
 - ・「無料低額宿泊所」計画は、業者の
自主的撤退により消滅
 - ・柏市議会本会議において請願採択
(成島市議会議長から決定通知)
 - 1月・新春の集い
 - ・「柏市無料低額宿泊所設置等指導要綱」
が制定
 - 2月・同施行
 - 3月・第13回松葉町チャリティゴルフ
大会
- その他
- ・犯罪件数の増加(平成15年中に松
葉町交番が扱った件数は631件
にのぼる。)町をあげての防犯意識
の高揚、対策が6丁目はじめ各町会
で防犯パトロールが始まった
 - ・協議会でも連携をとり、パトロール



平成15年 クリーンデー



平成14年 ふれあい伝承あそび



平成14年 みそづくり研修

腕章の配布や各町会・自治会に防犯活動の実態把握を依頼した。
・松葉地区の小・中3校、センターの代表者と協議会幹部で「児童生徒の防犯・安全対策について」懇談会を開催
・柏市ふるさとづくり協議会等連合会会議に参加

- 4月・シバザクラ祭り
- 5月・平成16年度定期代議員総会
・柏市ゴミゼロデー
- 7月・広報「まつば」年4回発行予定
・松葉中前花壇の手入れと散水を
学校側と協力し実施
・柏祭り参加
- 8月・第17回松葉町ふるさと祭り
小雨の合間予定どおり花火まで
- 9月・県西部防災センター見学会
- 10月・第17回松葉町文化祭
展示会、芸能・音楽会、茶会
将棋・囲碁会、環境問題の
パネル展示、健康管理コーナー
- 11月・グラウンド・ゴルフ大会
・クリーンデー
- 12月・福祉バスで環境施設見学会
市リサイクルプラザ、あけぼの山
・ふれあいむかし遊び
・青少年協と共催で、こま、ペーゴマ
メンコ、はねつき、けん玉
お手玉、綾取り、折り紙、かるたとり
・近隣センター大掃除とサークル
・団体の代表が利用で懇談会
・ごみの分別見直し説明会
・松葉基金より3団体へ助成
・チャリティゴルフ実行委員会より

松葉近隣センターの概要

松葉近隣センターは、昭和62年10月に出張所の併設された近隣センターとしてオープンとなりました。

その前身は市民課の松葉出張所として使用、昭和56年4月に、現松葉地域ふるさとづくり協議会、松葉地区社会福祉協議会が使用している建物で業務を開始した。

昭和58年9月に「松葉近隣センター設立準備会」が発足し、近隣センター建設に向けて活動を開始し、地元の方々の意見、要望を集約し、柏市との協議の集大成として現在の近隣センターが建設されました。

センター施設としては、1階には、和室3、茶室、ホール(談話室)、アリーナ(体育館)、2階には、和室1・2、会議室A・B及びC、多目的ホール、調理実習室を備えており、皆様方の利用に供されています。

それら貸出し室とは別に市民課業務を中心とした松葉出張所、柏市立図書館松葉分館が業務を行っています。

ここに働く職員は、出張所関係5名、図書館司書2名その他補助業務としての臨時職員、夜間、土日、祝祭日勤務の管理人が、

- 日本赤十字社に新潟県中越地震の義援金として寄付
- 1月・新春の集い
・松葉1小の通学路に、5・1自治会が「松葉あいさつ通り」の看板設置
- 2月・協議会創立20周年式典・記念誌発行
・東武バスとの懇談会
- 以後、予定
- 3月・第14回松葉町チャリティゴルフ大会
・防犯・安全関係



交代で勤務しております。

出張所業務とは別に生涯学習講座を、センター業務として開催しており、子供向け、成人向け、講座を生涯学習指導員を中心にするさと協議会コミュニティーリーダー、各関係課等と話し合いをいろいろ、地域住民の皆様方の要望に沿った講座開催を心がけるよう努力いたしております。

また、図書館松葉分室は分館中最大の利用率を誇っており、夏休み期間中など日によって本館の貸出し数を上回る日がございます。ご利用なされた方はご存知のこととも思いますが平日はもちろん、休日などは、狭い管内に人が溢れんばかりの状況もめずらしい事ではございません。

このような活気ある松葉近隣センターを支えているのは地域住民の一人一人の力があつてこそと思われまます。

地域の核となるセンターとして松葉地域の皆様のお役に立つことを心がけて参りますので、今後もお引き立ての程をよろしくお願いたします。



松葉「市民講座」



松葉近隣センター



シバザクラ祭りでシバザクラ苗配布



文化祭のバンド演奏

総務安全委員会

総務安全委員会は十七の町会・自治会・管理組合から二十三名が選出され、活動しています。

主な活動として、夏のふるさと祭りにおける会場内のパトロール、秋の県防災センター見学会の実施、冬の近隣センター大掃除、そして年明け早々の新春のつどいがあります。

協議会設立当初は、総務関係と安全関係は別々の活動を行い総務関係は「近隣センター運営委員会」、安全関係は「防犯交通安全委員会」から「防災委員会」に変わり平成14年度に近隣センター運営委員会」と「防災委員会」が統合され、現在の組織となり活動しています。

今年には阪神・淡路の地震から十年の節目であり、昨年は新潟中越地震やスマトラ沖の地震・津波も発生し、地域防災についても一度考える必要ができました。また、松葉町でこのような大災害が万一発生した場合、避難に係る諸々の対応策を松葉地区の三校と充分打ち合わせをし決めておくことも必要（学校側も話し合いを求めています）だと痛感しているところだす。

協議会設立二十周年を迎え、地域防災について議論していくと共に、防犯やその他の安全についても議論をし、「ふるさと」と心から呼べる街に皆さんと一緒に創っていきましよう。



文化体育委員会

文化体育委員会は、平成14年度に協議会の行事の見直しと組織の簡素化の中で、それまでの教育文化委員会と体育委員会が合併してできた委員会で、現在の主な役割としては、文化祭や体育祭等の行事の企画運営です。

文化祭は平成16年度ですでに17回目を迎え、書道・絵画・お花等の展示、踊りや詩吟等の芸能会、合唱や器楽演奏等の音楽会、お茶席、囲碁・将棋等からなり、松葉町地域の広い文化活動を反映したものとなっており、また地域のサークル活動等の一年の総決算としての大切な発表会の場ともなっています。

体育祭では、当初よりグラウンド・ゴルフを実施しており、一時地域の大会を開催したこともありましたが、現在はまた「ふれあいグラウンド・ゴルフ大会」として、子供からお年寄りまで毎年150名近くの参加者を集め、楽しい交流の場ともなっています。

この他、「ふるさと祭り」では盆踊りや子供神輿の企画運営を担当し、重要な役割を果たし、また、青少年健全育成協議会との共催で、「ふれあいむかし遊び」にも関わっています。

このように次から次への行事で、結構忙しい委員会ですが、全員で力を合わせて、わいわいと楽しく活動を進めています。



ふれあいグラウンド・ゴルフ大会



文化祭



秋の防災センター見学会



近隣センター大掃除



新春のつどい

環境委員会

毎月第三日曜日の午前定例委員会を開催し諸行事の打ち合わせを行い(12月・1月休会)委員の協力を得て、地域の環境保全、向上に努めました。

主な活動内容は

- ①ゴミゼロ運動(5月30日)松葉町クリーンデー(11月28日)に参加、地域の環境美化に協力しました。
 - ②11月のクリーンデーでは収集されたゴミの量が少なく環境への意識の高まりが感じられます。
 - ③松葉中学校前の花壇散水。7月から8月にかけての夏休み中の土曜、日曜と8月13日〜16日の間、委員全員と協議会役員の協力で、当番制を敷いて散水を実施しました。
 - ④ふるさと祭り(8月28日29日)では前後にかけて委員と有志の協力を得てゴミ集積所3ヶ所の設置と分別管理に当たりました。
 - ⑤文化祭(10月30日31日)では環境パネルの展示、ゴミ出し方法の変更、シバ桜苗の配布などを通じ行事に協力しました。
 - ⑥環境施設の見学会を12月2日に委員と地域の人達と柏市のバスで実施、ゴミの分別の大事さや資源のリサイクルに対する認識を深めました。
- 以上、諸活動に当たっては協議会役員、ゴミ減量推進員、みどりの基金委員、消費生活コーデイネーターの多大な協力、支援をいただきました。

松葉地区社会福祉協議会

松葉地区社会福祉協議会(地区社協)は、ふれあいと支え合いのある、心豊かな社会福祉の実現を目指し、地区内住民の福祉向上を目的として、平成13年に設立されました。地区社協は町会、自治会、管理組合から派遣されている方々、民生児童委員、健康づくり推進員などの制度ボランティアの方々、福祉関係の有識者で構成しています。高齢者部会、一般部会、障害者部会、ボランティア部会の4部会が様々な福祉活動を行っています。

春と秋の集い

65歳以上を対象に春と秋にづどいを開催しています。ゲームやマジック、ダンス、小学校児童、生徒の歌や楽器演奏などを楽しみます。部員の手作りの料理も人気があります。

七夕まつり

町内の老人会と子供たちが協力して、飾りや短冊を笹に飾ります。近隣センター、中央広場に立てかけ、皆さんに願いごとを書いてもらいます。

障害者との交流会・講習会

視覚障害者疑似体験や施設の園生・障害者家族との交流を行ってきました。今年度は、地区内の聴覚障害者方を講師に、親子で手話を学ぶ講習会を開催しました。

福祉施設の見学・交流

市内の特別養護老人ホーム、知的障害者授産施設などを見学しています。今年度は地域での「ふれあい、相互扶助活動」についてのアンケートを全戸に配布実施しました。

講座、講演会を開催

健康体操や介護、地域活動について市の職員からお話を聞きます。

ふれあいチャリティコンサート

クリスマス時期に器楽演奏や歌、ダンス、お酒、手作りオードブルを楽しみます。参加者からの募金は市内の福祉施設に寄付しています。

子供映画会

春休み、子供に人気の映画を鑑賞した後、お汁粉を食べてもらいました。



柏プラネット見学



クリーンデー

車いすの貸し出し

足の不自由な方に車いす貸し出しをしています。散歩、買い物、旅行等に利用されています。



秋のつどい



ふれあい
チャリティーコンサート

松葉地区青少年健全育成推進協議会



ふれあい昔あそび



「青少協」という略称で「ふるさと協」と共に松葉町住民の中に定着してきたことを喜びたいと思います。

昭和58年12月1日、松葉一小の会合で初めて松葉町の公的ボランティア40名の名簿ができ、その後近隣センターや図書館づくりが呼びかけられ現在の「ふるさと協」結成のさきがけとなりました。

当初の行事は「ふれあいコンサート」（青年相談員）に始まり、「凧づくり・凧上げ大会」などはふるさと協教育文化委員会に引き継がれました。映画会は「いじめは誰の責任」「きびしさ」「故郷は心の中に」「サマー映画会」「典子は今」は野球場に白幕を揚げたものでした。その後ふるさと協福祉委と協力して三世代ふれあい映画として「柳川堀割物語」「奇跡の人」などに引き継がれました。フェザープレーン大会、パソコン教室、牛乳パックでののはがき作りやけん玉講習会（級認定会）などは主催、協賛、共催などと形を変えながらも現在の「むかしあそび」に継承されています。野外活動は元年6月の「緑の冒険・砂漠にマングローブを育てる」講習会の後、千葉植生園見

学、大平山登山に始まり「手賀沼自然観察ハイキング」「矢切りの渡し・水元公園ハイキング」「松ヶ崎城址・大堀川水辺ハイイク」に続いています。柏市「遊びのフリーマーケット」に協力したのをきっかけに「大人こそ冒険遊び」の講演会を開催、その後プレーパークの会「あそぼうよ」に後援協力、5年間殆ど雨風で中止することなく毎月第2土曜日に開催されています。

青少協最大の行事は「子どもフェスティバル」規模も二〜三千人と圧巻、青少年団体の「遊びのコーナー」パフォーマンスと拡大されてきました。夏、冬の非行防止パトロールは「安全安心まちづくり」にも協力、地区内の防犯パトロール活動のきっかけにもなりました。青少協のすべての活動を通じて「ふるさと協」を始めとする諸団体の協力関係がポイントであり、みんなと共に成果を分かち合えるものと喜ぶとともに今後とも宜しくお願い申し上げます。

松葉町の人口・世帯数推移表

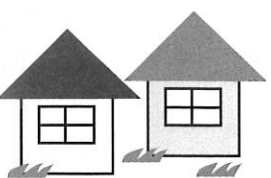
| 年度・種別 | 町会 | | 1丁目 | | 2丁目 | | 3丁目 | | 4丁目 | | 5丁目 | | 6丁目 | | 7丁目 | | エスデコート | | 合計 | |
|--------|-------|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|-------|-------|-------|-----|-----|-------|-----|--------|-----|-------|-------|
| | 男 | 女 | 世帯数 | 男 | 女 | 世帯数 | 男 | 女 | 世帯数 | 男 | 女 | 世帯数 | 男 | 女 | 世帯数 | 男 | 女 | 世帯数 | 男 | 女 |
| 昭和59年度 | 807 | 792 | 447 | 284 | 300 | 171 | 181 | 352 | 1,134 | 1,103 | 1,470 | 1,507 | 563 | 538 | 1,121 | 251 | 259 | | 4,680 | 4,680 |
| 昭和60年度 | 931 | 900 | 503 | 345 | 344 | 211 | 218 | 429 | 1,153 | 1,122 | 1,723 | 1,762 | 617 | 614 | 1,231 | 309 | 321 | | 5,289 | 5,281 |
| 昭和61年度 | 995 | 964 | 541 | 372 | 377 | 251 | 247 | 498 | 1,397 | 1,395 | 1,838 | 1,872 | 643 | 631 | 1,274 | 338 | 348 | | 5,834 | 5,834 |
| 昭和62年度 | 1,071 | 1,037 | 577 | 387 | 395 | 270 | 258 | 528 | 1,619 | 1,627 | 1,942 | 1,964 | 676 | 664 | 1,340 | 364 | 375 | | 6,329 | 6,320 |
| 昭和63年度 | 1,244 | 1,215 | 681 | 432 | 435 | 300 | 287 | 587 | 1,692 | 1,683 | 1,993 | 2,018 | 690 | 668 | 1,358 | 412 | 424 | | 6,763 | 6,730 |
| 平成元年度 | 1,244 | 1,248 | 692 | 460 | 450 | 323 | 314 | 637 | 1,678 | 1,690 | 1,993 | 2,014 | 692 | 692 | 1,384 | 434 | 443 | | 6,824 | 6,851 |
| 平成2年度 | 1,234 | 1,241 | 694 | 450 | 444 | 406 | 395 | 801 | 1,671 | 1,676 | 1,951 | 1,992 | 685 | 692 | 1,377 | 478 | 464 | | 6,875 | 6,904 |
| 平成3年度 | 1,230 | 1,248 | 699 | 508 | 516 | 451 | 428 | 879 | 1,379 | 1,659 | 1,944 | 2,009 | 672 | 703 | 1,375 | 540 | 512 | | 7,024 | 7,075 |
| 平成4年度 | 1,241 | 1,271 | 713 | 520 | 511 | 456 | 432 | 888 | 1,642 | 1,666 | 1,979 | 2,024 | 672 | 709 | 1,381 | 561 | 534 | | 7,071 | 7,147 |
| 平成5年度 | 1,364 | 1,403 | 797 | 511 | 510 | 467 | 442 | 909 | 1,609 | 1,650 | 1,973 | 2,026 | 684 | 708 | 1,392 | 599 | 567 | | 7,207 | 7,306 |
| 平成6年度 | 1,389 | 1,431 | 823 | 501 | 500 | 454 | 437 | 891 | 1,609 | 1,651 | 1,920 | 1,994 | 686 | 723 | 1,409 | 589 | 564 | | 7,148 | 7,300 |
| | | | | 324 | 324 | 272 | 272 | 910 | 910 | 1,120 | 1,120 | 426 | 426 | 377 | 377 | | | | 4,252 | 4,252 |

松葉町(松ヶ崎の一部含む)の人口・世帯数推移

| 年度・種別 | 町会 | | 2丁目 | | 3丁目 | | 4丁目 | | 5丁目 | | 6丁目 | | 7丁目 | | エスデコート | 合計 |
|--------|-------|-------|-----|-----|-----|-----|-------|-------|-------|-------|-----|-----|-----|-----|--------|--------|
| | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | | |
| 平成7年度 | 1,380 | 1,402 | 500 | 513 | 437 | 426 | 1,583 | 1,637 | 1,910 | 1,986 | 704 | 745 | 573 | 556 | | 7,087 |
| | 2,782 | | 822 | | 266 | | 905 | | 1,122 | | 441 | | 371 | | | 14,352 |
| 平成8年度 | 1,367 | 1,386 | 484 | 504 | 446 | 460 | 1,566 | 1,621 | 1,860 | 1,955 | 696 | 733 | 558 | 565 | | 7,265 |
| | 2,753 | | 342 | | 285 | | 907 | | 1,127 | | 448 | | 374 | | | 4,266 |
| 平成9年度 | 1,357 | 1,376 | 490 | 513 | 433 | 456 | 1,538 | 1,591 | 1,836 | 1,939 | 675 | 726 | 546 | 552 | | 6,977 |
| | 2,733 | | 346 | | 278 | | 908 | | 1,131 | | 444 | | 376 | | | 14,201 |
| 平成10年度 | 1,336 | 1,358 | 474 | 486 | 417 | 435 | 1,516 | 1,571 | 1,789 | 1,895 | 677 | 713 | 558 | 549 | | 7,224 |
| | 2,694 | | 336 | | 272 | | 909 | | 1,133 | | 452 | | 382 | | | 4,304 |
| 平成11年度 | 1,324 | 1,337 | 490 | 494 | 420 | 442 | 1,501 | 1,569 | 1,779 | 1,886 | 683 | 704 | 541 | 557 | | 6,875 |
| | 2,661 | | 348 | | 277 | | 916 | | 1,136 | | 456 | | 374 | | | 14,028 |
| 平成12年度 | 1,312 | 1,329 | 508 | 525 | 408 | 437 | 1,494 | 1,552 | 1,751 | 1,839 | 663 | 704 | 540 | 564 | | 7,153 |
| | 2,641 | | 370 | | 270 | | 919 | | 1,126 | | 453 | | 385 | | | 4,308 |
| 平成13年度 | 1,276 | 1,281 | 546 | 548 | 402 | 419 | 1,467 | 1,547 | 1,747 | 1,829 | 658 | 708 | 539 | 542 | | 6,767 |
| | 2,557 | | 388 | | 273 | | 927 | | 1,142 | | 454 | | 377 | | | 13,774 |
| 平成14年度 | 1,246 | 1,271 | 539 | 545 | 466 | 465 | 1,435 | 1,507 | 1,697 | 1,795 | 644 | 712 | 550 | 546 | | 6,635 |
| | 2,517 | | 390 | | 273 | | 921 | | 1,134 | | 462 | | 406 | | | 13,509 |
| 平成15年度 | 1,263 | 1,265 | 549 | 557 | 470 | 472 | 1,405 | 1,480 | 1,696 | 1,790 | 635 | 694 | 523 | 534 | | 6,874 |
| | 2,528 | | 403 | | 321 | | 921 | | 1,149 | | 464 | | 405 | | | 4,367 |
| 平成16年 | 1,237 | 1,235 | 530 | 540 | 480 | 474 | 1,386 | 1,459 | 1,676 | 1,760 | 630 | 677 | 510 | 518 | | 6,577 |
| | 2,472 | | 402 | | 327 | | 931 | | 1,149 | | 467 | | 398 | | | 13,418 |
| | | | | | | | | | | | | | | | 4,448 | |
| | | | | | | | | | | | | | | | 6,541 | |
| | | | | | | | | | | | | | | | 13,333 | |
| | | | | | | | | | | | | | | | 6,792 | |
| | | | | | | | | | | | | | | | 4,510 | |
| | | | | | | | | | | | | | | | 6,822 | |
| | | | | | | | | | | | | | | | 13,849 | |
| | | | | | | | | | | | | | | | 4,739 | |

注：《数字は各年度末。16年は3月末。エスデコートは16年12月末現在です》

わが町の紹介



一丁目第一町会

会長 野津 鎮雄

松葉町一丁目第一自治会

会長 山下 統一郎

当町会は、バス道路に面した所に町会所有の集会所として「ふるさと会館」を所有しております。

当町会の範囲は、住宅公団の分譲地に建築した戸建住宅が主体となっており、当初は、町会の会合は第二公園で行っていました。雨のときは町会長の自宅、または総会等で人数の多いときは、他の町会の集会場を有料で借用して集会を行っております。

この不便さを解消するため、平成六年度一世帯当たり九万円の賛助金を集めて建設したものであります。

活用状況は、定期的使用として、

毎週月曜日午後一時よりカラオケ会、火曜日午後七時より自彊術会、木曜日午後一時より一声会例会があり、第四土曜日午後八時より役員会となっております。町会員の利用日以外の日は部外者に有料で貸し出す制度もあります。室は三室あり、料金は一室あたり一時間につき昼間四百円、夜間六百円となっております。ご利用希望の方は71326776。町会長野津宛ご連絡を。



ています。



松葉町一丁目第一自治会のこの町は、中低層三五二戸千百人が楽しく仲良く暮らしています。子供達の楽しみは夏の子供神輿です。今年神輿も山車も化粧替えし、上位入賞をねらいましたが雨でコンクールが流れ本当に残念でした。もう一つの楽しみは、十二月に行われるお餅つきです。お餅つきだけでなく落ち葉焚きで焼くサツマイモは子供達以上にお母さん達の楽しみになっています。

この町も誕生して二十年団地の木々も大きくなって住宅にとつて、残念ながら邪魔になってしまふ木も出て来ました。そんな中から植栽に興味を持つ人たちが『花と緑の会』が今年発足しました。自分達の町を優しい花で埋めて行こうと意気込んでいます。他にもゴルフ大好き人間の集まりで『松陽会』平均年齢は六十歳を超えています。松葉町のチャリティゴルフでも団体優勝するほどの強豪でもあります。その他にも民謡、尺八、歴史探訪など趣味豊かな人たちがグループを作り楽しんでいる町です。



一丁目第二管理組合

理事長 長田 雅弘

私が此処に転居してきましたのは昭和六十三年三月末のこと
で、それ以来平成十六年七月まで会社員の暮らしでしたので、当
団地についてどれだけ知っているのかと、執筆依頼を受け戸惑い
ました。今年五月からの新米理事長ですが、逃げるわけにも行く
まいと記してみました。

当団地は全戸数五十戸の小規模な団地です。しかも全戸二階建
で専用庭付きです。

世帯数が少ないせいか住民同志のトラブルは聞きません。お互
いに顔が見えているのでしよう。専用庭では思い思いに花などを
植えています。世帯数の割には緑地が広く、又、樹木も多いので
「手漉きの人集合」の形で草刈り、落ち葉清掃や樹木の手軽な枝
払い等をグリーンデイとして年間五回程度行つて居ります。小さ
い子供さんたちのレクリエーションの場でもあり、大人の人たち
の明るい雑談の場でもあります。

小さな子供さんたちの「ふるさと」意識のもとにでもなればと
願つて居ります。

当団地は柵一枚を隔てて松葉第一公園に隣接しています。桜の
シーズンには手軽に花見が楽しめます。もともと、公園に面した
棟に住む方には良い事ばかりではなく、一杯機嫌の花見の人たち
の歌声や、花の後の毛虫等、やや気になる事も有るようですが、
桜の花の見事さはそれを償つて余りあるようです。

グランヴィル松葉自治会

会長 小林 正民

松葉町地域ふるさとづくり協議会創立二十周年おめでとうご
ざいます。

グランヴィル松葉は、平成四年十二月より入居が始まりまし
た。今年で十二年目を迎え、エステコート北柏に次いで新しい住
宅であります。

周りの町会・自治会に比べ、単一の住宅そのもので自治会・管
理組合を形成している点、グランヴィル松葉の特徴とも言えま
す。また南側全面には高い建物がなく、低層階からも夏の手賀沼
の花火が遠くではあるがよく見えるのも特徴であります。

松葉町地域は柏の中でも緑豊かな街並みが残るところですが、
ここグランヴィルが建てられた場所も子供達の遊び場所であつ
たと聞きました。近年こうした場所が減り、住宅や大規模商店が
できてきたことは便利さとにぎやかさがふえてよろこばしいこ
とである反面、松葉町地域の特徴でもある豊かな緑が犠牲になつ
ていることが大変残念です。

我が子達にもこの松葉町地域が心から誇れる街にしていくな
どが私たち大人の使命ではないでしょうか？

これから三十周年、四十周年と迎えられるよう協議会がまずま
す発展し、松葉町ふるさと祭りをはじめとする各種行事が地域住
民とより一体となって発展していくことを心よりお祈り申し上
げます。

一丁目第三管理組合

理事長 小原 明夫

この団地に私共は居を構えて早くも二十年が過ぎようとして
おります。

その間この住宅の管理に伴うハード面は法律に基づき組合を
組織して財産の保全を図っておりますが、とかく欠落しがちな
現在社会のメンタルな連繋を図る必要から遅ればせながら平成
八年に自治会組織を発足させました。以来少しずつではありま
すが隣人との会話や助け合い等、朝夕の挨拶だけでなく生活の
色々な面に潤いが生まれてきているようです。



そのことは「ふるさと協議会」や市ならびに社協等の情報提供
や指導がありましたことは基よりですが住民の意識も大きく変
化が生まれているように思います。夏祭りや色々なサークル活
動も積極的に参加する住民も多くなりました。また当団地独自
でも清掃を始め防災訓練等も行つてお
りますが、更に今後は人々の心と心の
ふれ合える活動も検討しなければと思つ
ております。一人ひとりの住民の意識
の啓発は、発生することを考えなけれ
ばならない災害に対する被災を少なく
することにもなると思います。地域の
住民が心の繋がりを求め続ける方策は
色々あると思いますが、その心がやが
て大きいエネルギーになって住みよい
街を造つて行くことになるものと思つ
て活動いたしております。

北柏ライフタウン住宅

住民代表 村田 容子

当団地は、築後二十一年を経過しております。賃貸住宅のため
転勤などによる住人の転出、転入が多く、当初から町会、自治会
という体制は採っておりませんでした。

今から五年ほど前に地域の方々のご助言や一部の人の努力に
よつて、現在は年二回の住
民集会在、ようやく定着し
つつあります。こうした場
を通じて、住民相互の意見
交換が行われるようになつ
てきました。

防犯や防災、さらには高
齢化が進み、地域社会の一
員として果たすべき役割が、
ますます重要になってきて
いると思います。

住人の入れ替わりが多く、
積極的な活動を行うまでに
は至っておりませんが、こ
の地域の萌芽を大切に育て
ていきたいと思っております。



周辺が緑にかこまれた低層の連棟式鉄筋住宅：建物は二十年を超えています。自治会の歴史は浅く、ふるさとづくり協議会の夏祭りに参加したのは、3年前のことです。

夏祭りのお祭り広場から離れていること、お祭りの経験や参加要員数など：：出店参加の条件など有利なものとはいえないのですが、皆様方の支援と協力のもと効率よく楽しくお祭りに参加できました。

お祭り広場の隣接テントからは、テント設置の早さに驚きの声を頂けたのは望外の幸せでありました。自治会活動を通じていろいろな方々に接することができ、私なりに視野が広くなりました。

心優しい人々との交流は特に印象深く、地域活動や住環境の美化等に黙々と地道に努力されている人々を身近に知ることができたことは実に嬉しい限りであります。

先般の新潟中越地震災害においても地域自治会等への住民の方々の期待や願いは深刻・切実なものがあり、責務の重大さをあらためて噛みしめております。日頃から地域の方々との連帯の輪を深めることが大切なことではないでしょうか。



エステ・コート自治会は平成8年に設立したばかりの、松葉地区では最も新参です。地域の皆さまのご援助、ご激励をいただきながら順調に歩みを進めています。

最初の年から、住民のコミュニケーションを深めるために、ハイキング、作品展示会、マンション内夏祭り、餅つき大会などの実施、自治ニュース「けやき」の刊行等と行事を探ってきました。展示会は一回限りで終わりましたが、夏祭りは松葉地区協議会の夏祭りへの発展的参加、ハイキングは施設・スポーツの見学会へと移行して続いています。特にみんなで参加する白と杵の餅つきは好評で、振舞い餅は勿論のこと、搗いた餅は毎年売り切れと順調に行われています。

住民とペットが共存し、好ましい関係を保つために「ペットクラブ」が、同好者で組織する「ゴルフ同好会」(現在会員二八名)が楽しく活動が続いています。

自治会には、規約にサークル活動を援助する細則もあり、以前には「子育てサークル」の芽生えがあったりしましたし、今後子育てを終わるお母さま方も増えて行きますので、新たな活動も展開されるのではないかと期待されます。



まもなく発足十周年を迎える当自治会も会費からの「周年記念行事積立」による十周年記念行事も検討されています。

二丁目町会

会長 藤田 武志

七班からなる当町会は、会員数一三四世帯、昭和60年に設立され松葉町の中でも歴史と伝統のある町会です。松葉町地域ふるさとづくり協議会の二代目会長でもある故村井寿太郎氏が明るい、暮らしやすい町にしようということで町会を立ち上げ、住民ふれあいの場として夏祭りを始められました。この祭りが松葉町全体のふるさと祭りに発展し、今や柏市においても柏まつりに次ぐ大きな祭りとなり感慨ひとしおです。五、六年前に町内に多くの建売住宅が出来、世帯主が若い世代の皆様が入居され、町会に加入された関係で平成12年のふるさと祭りからそれまで休止していた「こども神輿」が復活しました。又ふるさと祭りの出店では松葉町で唯一の「コンニャク玉」を扱っており、今や人気商品となっております。



当町会も17年度で創立20周年を迎え、成人となります。町会員相互のふれあいは勿論、最近とみに車上荒し、空き巣狙い、子供に対する不審者の横行など、防犯対策に今後ますます注力していきたいと考えます。

三丁目町会

会長 丸田 達夫

二十周年おめでとうございます。協議会活動をここまで発展拡大された歴代会長をはじめ関係者の皆様の努力に感謝いたします。当町会も大きく変貌しました。

特に町会の中央部を貫通する二本の生活道路(松葉中学を挟んだ南北方向の道)はモールへのアクセス道路となつて、日ごとに騒々しさを増しつつあります。体感する無味乾燥化というこの一大事に対処するため創意工夫し、潤いのある安全な町にすることが私たちの重要な仕事です。人間的対話・交流・暖かさを基本に調和できる「顔の見える町会」づくりを目指します。

潤いのある例として、幸い第三公園が町会内に位置していることから、公園周りの路肩に近隣の方たちが花を植えたり、公園近辺の犬のフンをかたづけするなど公園周囲を清掃し、安全できれいな町づくりを標榜する手作りの看板を作ったりして時流に沿った公園の最適化を模索しています。町会としても重要な活動と考え協力しています。かねがね集い語らえる場所を探し求めていた当町会にとって、一石二鳥です。

またサークル活動に参加する人が多いのも、当町会の特徴の一つです。町会内で町会の人たちによる文化・教養的なグループ活動を注視して、町会としても助成していきます。町会の行事はできる限りセーブして、各自の心理的負担を軽減しその分だけ集中的に協力的なパワーをぶつけていくのが当町会の考え方です。防犯には特に留意することが大切ですが、各世帯が孤立することなく積極的な対話や交流が防犯対策にとつての基本であり、もつとも効果的だとする認識を共有しています。そして班長を含む全員が「防犯委員」の表札を掲げて町会をしつかりとガードする体制をとっています。

四丁目第一町会

会長 吉岡 啓太郎

我が町の誕生は一九八二年(昭和五十六年)であり、住宅管理組合が、建物や植栽等の維持管理を行ってきました。町会発足はやや遅れて一九八九年(平成元年)十一月に設立総会を開催し、四一町会の誕生となりました。我が町会は全戸数二五戸のうち空き室二戸を除き全て入会しております。

町会の基本方針は次のとおりです。

一、会員相互のふれあいを一層密にするため、会員が気軽に参加できる活動を展開する。

二、「ふるさとづくり協議会」の活動に参加して他町会との連携を深める。

三、住宅管理組合と密接な連携を図り、より住みよい環境とコミュニティづくりに取り組む。

これらの方針に従い、子どもからお年寄りまで楽しく触れ合うことが出来る夏祭りや、文化祭に参加し、また町会の行事である歩こう会、ゴルフ大会、草取り、駐車違反の取締り、資源品の回収等行っております。さらに町会には入会資格が六十歳以上の「さつき会」があり、月二回の定例会と小旅行等の行事を楽しみ、町会役員が準会員として参加して支援を行っております。



五丁目町会

会長 武内 清志

松葉町地域ふるさとづくり協議会の創立二十周年を心からお祝い申し上げます。

創立当初より今日まで、協議会運営に携わってこられました歴代役員の皆様の、長きにわたるご尽力にたいしまして、深く敬意を表するしだいです。

当町会は、ふるさとづくり協議会と同様に、今年で発足二十周年を迎えました。発足当時はまだ空き地も多く寂しい限りでしたが、今では住宅が立ち並び明るい町となり隔世の感がします。町会設立に参加した一人として、感慨深いものがあります。

ところで、いま五丁目町会は、加入世帯が百二十前後のこじんまりしたまとまりある町会です。そんななかで、なんとと言っても誇れることは、発足以来、毎月第一日曜日を「定期清掃」の日として、町会内の環境美化運動を続けてきたことです。この運動は、すっきり定着しており、これからもきれいな町を目指して長く続けて行きたいと考えております。

一方、当町会も少子高齢化問題、防犯問題等、一町会だけでは対応がむずかしい課題もあり、ふるさとづくり協議会や、地区内の近隣町会との連携が、今まで以上に重要になると考えております。

五丁目町会としましては、これからも住みやすい町づくりを心掛けて努力してまいりますので、今後とも町会運営につきましまして、引き続きご指導、ご鞭撻くださるようお願い申し上げます。

最後になりましたが、松葉町地域ふるさとづくり協議会のますますのご発展をお祈り申し上げます。

四丁目第二町会

会長 加藤 佑二

松葉町四丁目の別名は北柏ライフタウンセントラル、松葉町の中心に位置し都市居住機能の集中するところ。行政・金融・公共サービス・医療施設・ショッピング街があり中央公園(?)まであるので、住民の気分はまさにダウンタウンセントラル。

この街区が建設され入居が始まったのは昭和57年、そして四丁目第二町会(当初は自治会と称した)が住宅管理組合から分離独立したのは昭和61年。ふるさと協議会の発足に遅れること二年で活動を開始した。

町会の目指すところは二つ、①地域内住民が集まり話しあう場を作ること。②柏市をはじめ外部の組織と交渉しよりよき生活環境を確保すること。①の具体策として多くの住民が参加できる行事を実施している。自主防災組織をつくり秋の防災訓練を実施し、またその一環として毎年おこなう餅つき大会も松葉地区では一番早く始めたのではないだろうか。その他の年中行事も比較的早くから定着している。

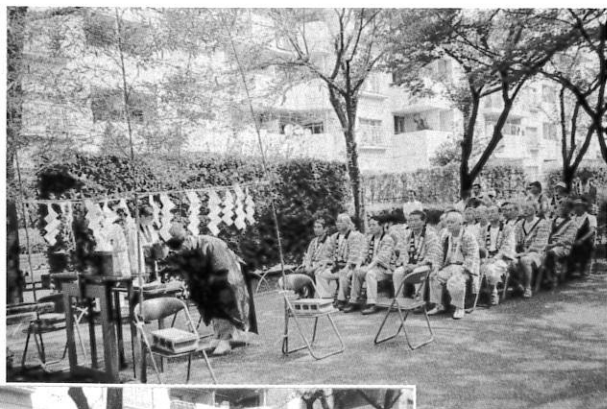
②は、環境改善では何をしてきただろうか。松葉町の閑静さは駅から少し離れていることで確保されていることがまた松葉町の住環境の弱点となっている。駅と町を結ぶバスの運行について種々の提案をし、深夜バスの運行やバス停の整備を実現してきた。が、しかし、最大の課題は朝夕の渋滞の解消である。雨降りの朝、通勤通学の人は天気気が気になつてしょうがない。この渋滞はいろんな要因が絡んでいて簡単に解決しない。いままでもいろんな努力がなされてきたが今後も粘り強く解決策を探してゆきたい。わが町のわが住居の利便性を高め評価額を二割上げるためにも。

五丁目第一自治会

会長 五十嵐 徹

五丁目第一自治会は松葉第一小学校に隣接し「あいさつ通り」の全面的協力と住民の暮らしやすい環境づくりを推進しております。

一方、住民同士のふれあいの場所づくりとして、桜まつり、夏まつり、キャンプ等毎年盛大に催しております。他の町会の皆様も都合をつけて是非遊びに来てください。



ふるさと祭り



もちつき

五丁目第二管理組合

理事長 檜垣 正

五―二管理組合には、おまつりの時にはその価値を發揮して、子供達のためにおまつりを盛りあげてくれる、サークルがあります。その名は「松葉ひまわり会」と「お祭りサポーター」といいます。松葉ひまわり会は子供達に呼びかけて、みんなで踊る楽しさを子供達に教えています。毎年この地区の子供達のためにふるさと祭りにそなえて、一週間前から準備と練習に力をつくしてくれます。今年はいくの天気でしたが、多くの子供達をあつめて、参加してくれました。

お祭りサポーターは、手作りみこしや山車の飾りつけのアイデアとかで、子供達は毎年楽しそうに、色々な飾りつけをやってくれます。今年のみこしが出る日は、あいにくの雨でみこしや飾りつけた山車などは、管理事務所の中でお祭りになりましたが、子供も大人も楽しく参加してもらえました。

お祭り広場の店ではクロウトはだしのかけ声と威勢のよさでほぼ全品売りつくすくらいまでいくことができました。もちろん薄利多売をうりものがんばってもらいました。

来年も子供達のためによりしくお願ひします。



五丁目第三町会

会長 唐沢 暁

二十年誌の原稿を仰せつかつて四苦八苦ししている私と家族は入居時の思いで話を咲かせた。今年成人式を終えた息子は、この松葉町が故郷だとおもいつつ、この原稿は息子との話し合いの中で書いた。

「環境は人間に影響を与える。環境が人間を構成すると言っても過言ではないだろう。例えば、僕が原始時代に生まれていたら今頃僕は槍を持ってマンモスを追いかけているのだろうか。ところで、僕はこの団地に二歳の頃から住んでいる。だから現在の僕を構成しているファクターの殆どはこの区域に雑然と転がっていたものだ。そしてそれらはこの区域に住む人々が産出したものである。僕がであった友達に、彼らを育ててくれた人たちがいるように、色々なことが色々な形で僕と関係がある。僕はこの環境で育ったことを嬉しく思っているし、感謝すべきだと思う。近所に虫捕りが出来る程度の自然があったこと、管理された公園があったこと、夏の御神輿や冬の餅つき大会、誰が植えてくれるのか団地の内外を彩ってくれる季節の花々など、全てが優しさに含まれていて、その優しさは誰かのもので、僕はそういうものに包まれて育ってきた。この町の何が素晴らしいかと問われれば、僕は人々と答える。今大声で「今まで有難う」と叫びたいのだけれども、もう夜中だからやめておく。そういう風にはこの町に育てられた覚えはない。」

二十年を振り返って、今後親子でくつろげる家庭がある生活環境でありたい。また、今後の課題としては老齢化がちよつと心配ではあります。

六丁目町会

会長 藤井 孝行

六丁目を散歩されますと直ぐにお気づきかと思われませんが、辻の角々に立つ防犯・警告を促す、「のぼり旗」です。揃いの帽子と腕章に身を固め、毎週水曜日と月二回の土曜日、午後三時より行っている防犯パトロール運動は、見事に六丁目の町会活動に根付き、多発していた盗難事故が激減した効果ができました。

この運動は柏市並びに柏警察署からも、注目すべき町会活動として、何度も表彰という形で評価を受け、平成十六年秋に展開された「空き巣ゼロ一〇〇日達成運動」も見事クリアいたしました。土曜日のパトロールでは現在、空き缶やゴミ拾いも併せて実施し、町内クリーン意識の徹底にも一役買っています。六丁目もご多聞に漏れず少子高齢化が進み、お年寄りのひとり暮らしや老夫婦だけの所帯で、いざ何かあった時の問題等も懸念視される実態もごございます。旅行など家を空ける時には、お隣に一声かけるなどし、注意の呼びかけ・防犯意識の徹底で、隣近所の輪を拡げるといふ、ダブルの効果も生んでいます。

「もちつき大会」も呼び物の一つです。つきたてのお餅に加え、豚汁、やきいも、綿アメ、ビンゴゲームと大人も子供も楽しめ、準備をする役員も、参加者の美味しそうな笑顔や明るい笑い声で、苦勞も吹き飛びます。毎年大変な盛り上がりを見せるイベントです。ゴルフ仲間の松六会、踊りの松藤会、お年寄りの松寿クラブ：他、サークル活動も実に盛んです。

四季折々に花が咲き、緑が溢れ、コミュニケーション豊かな、住みやすい街づくりを今後共心掛けていきます。「六丁目に住みたい！」と言われるように…。

七丁目町会

会長 芝原 達

松葉町七丁目は松葉一小正門横の第四公園の遊歩道から西へ東武バス車庫を経て公設市場方面へ戸建中心の長い町内会です。第四、第五の二つの公園、三丁目、十余二鴻巣、若柴、六丁目町会などと近隣関係にあります。西部消防署と柏市防災倉庫を町内にかかえているのも特徴です。

町会は昭和58年6月26日に83世帯の人々により設立され、現在では320世帯になりました。呼びかけのきつかけは防犯であり、新しい分譲地に点々と建った隣同志の連携の無いところを狙われた空き巣などの犯罪が多かったのです。町会設立時の課題は街路灯の設置とゴミステーションの新設でした。ABC三つの地域ブロックに13灯の防犯灯を設置したのが最初で「新しい街だから」と市に要請を続け、現在では131灯、殆どすべての電柱にとりつけた外灯が夜の安全に大きな役割を果たしています。

七丁目の特徴としては地域の特性から近隣町会や生活に密接に結びつく商店会との協力関係が深いことです。町会を結成してすぐの第五公園での町会夏祭りは盛大で、今でも語り草になっています。その後(三丁目町会や中央商店会夏祭りに合流)現在のふるさと協夏祭りへと引き継がれました。

昨今の少子高齢化社会の中、七丁目町会も高齢化が進んでいます。未来を担う子どもたちが夢を失うことなく健全に成長でき、高齢者が生きがいを持って生活できる町会づくりをすべく、防災、防犯、福祉など長い視点で提言検討していかねければと考えております。今まで培ってきた暖かい近隣との協力関係を強め、新たな一歩を踏み出したいものです。

松葉を含む
北部地域のまちづくり

柏市都市計画部によると、松葉町を含む柏市北部地域を「緑園都市」と位置付け、都市の活力と環境が調和した職住近接のまちづくりをめざしており、地域に培われてきた郷土の歴史や生活文化などを大切に、残されている貴重な緑地や水辺を生かすことにしているとのこと。

つくばエクスプレスの新駅を中心に広域生活・文化や業務、交流を担う活力と魅力を備えた、東葛飾北部地域の中核都市にふさわしい地域整備を行うために、計画的な都市基盤の整備を目指し、一体型特定土地区画整理事業（鉄道と沿線地域の基盤整備を一体的に進める）が進められています。

つくばエクスプレスは本年秋開業に向けて、昨年11月1日より秋葉原駅からつくば駅までの全線(58.3km)走行試験が行われています。

柏市においては、「柏たなか駅」と「柏の葉キャンパス駅」が決まっており、松葉町に近いキャンパス駅の由来は、柏の葉公園、柏の葉総合競技場などの「柏の葉」と、柏の葉一体に立地する東大柏キャンパス、千葉大学園芸学部附属柏農場、東葛テクノプラザなど新駅周辺は、研究や新産業創出の一大拠点となり得るものでキャンパスと呼ぶにふさわしい地域ということで「キャンパス」を合わせて決定したとのこと。



つくばエクスプレス
柏の葉キャンパス駅



編集後記

昨年(平成16年)3月に協議会歴代会長で構成する創立20周年記念事業諮問委員会に式典並びに記念誌の発行を諮問し了解を得、同9月から準備をはじめた。

記念誌チームで先ず話し合った事は20年誌の内容をどのようなものにするかということで、結論は継続性ということと10年誌の内容を基調にしたものにしようということであった。従って全体的には10年誌のスタイルを踏襲しようということで、順調に作業をすることができた。ただ写真の選定に多くの時間を費やした。素人の集まりで作成したので満足のいく物は出来なかつたが、チームの皆様のご苦勞に感謝します。また、記念誌の発行に際し、ご協力を頂いた市長を始め、松葉中、松一小、松二小の子供達他各位のご協力を深甚の謝意を表するものである。

(藤田)

協議会設立20周年記念事業

(プロジェクトチーム)

(記念誌チーム)

秋元康雄 庄本 豊 福元 浩 神代和幸
濱野明雄 五十嵐徹 細見 滋 川上利男
栗林達也 末継重利 大蔵隆史

(記念式典チーム)

稲村利治 新木隆司 志賀保文 森本憲一
中塚啓一 峯村英雄 井上周市 宮本 勉



協議会創立20周年記念誌

《松葉町はこんな街》

平成17年2月27日発行

編集者 松葉町地域ふるさとづくり協議会

発行 記念誌プロジェクトチーム

責任者 松葉町地域ふるさとづくり協議会

会長 藤田 武志

会 長 藤田 武志

柏市松葉町四丁目十一番地

印刷 山和印刷株式会社

柏市十番二 三三三―二一九番地

〇四―七三三―三三七八

〇四―七三三―三三七八